



神奈川県

厚木保健福祉事務所

平成 22 年度

厚木保健福祉事務所年報

— 2 0 1 0 —

は じ め に

平素より私ども厚木保健福祉事務所の事業推進に御理解、御協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は3月11日午後2時46分に東北地方太平洋沖地震という未曾有の大震災が発生し、東北地方を中心とする東日本に、地震、津波、そして原子力発電事故が甚大な被害をもたらしました。被災された方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

本県では、発災以来、様々な形で被災地支援を行っておりますが、保健福祉分野からは、医師、保健師、福祉職等から構成される「心のケアチーム」と「保健師チーム」を組織し、岩手県での支援活動を行ってまいりました。両チーム合わせて延べ94名が参加しましたが、このうち当所の職員も延べ10名が参加しております。続く福島県での支援活動にも県は保健師を12名派遣しておりますが、当所からは3名が参加するなど、継続的な支援活動に従事しております。

また、本県の医療行政に目を向けますと、4月に就任した黒岩知事のもと「医療の先進県・マグネットかながわ」を実現するため、現在、本県の医療のあるべき姿や課題解決の方向性を示す「医療のグランドデザイン」の策定に取り組んでいます。また、地域における医療課題の解決に向け、平成22年2月に、県東部と県西部の2つの地域に分けた地域医療再生計画を策定し、「地域医療再生臨時特例交付金」を活用し、医療機能の強化や医師等の確保といった施策・事業に取り組んでおります。当所でも、こうした状況の中、県央地域の医療課題の解決に少しでも役立つよう、日々、市町村や関係団体等とともに救急医療体制の確保に係る調整などを行っております。

さらに、県では、平成23年12月から地方独立行政法人神奈川県立病院機構と協働で実施する、不活化ポリオワクチン接種の取組みをスタートさせましたので、当所においても、不活化ワクチン接種を希望する県民の皆様が安心して接種を受けられるよう円滑な実施に努めているところです。

このように、日々、刻々と変わる社会状況の変化に対応し、県民の方々をはじめとした皆様の健康と安全を守るための取組みを続けております。

こうした取組みに加え、当所では、管内の保健・医療・福祉サービスの充実を図るため、市町村、医療機関、保健・医療・福祉関係機関等と連携しながら、継続的に様々な取組みを実施しております。

このたびは、こうした事業のうち平成22年度の活動を年報として記録し、まとめました。

具体的には、地域医療対策や「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」の推進、衛生的な生活環境の確保、感染症対策、医薬品等の安全対策及び食中毒予防対策の推進など、様々な取組みを実施し、地域の人々が安心して心豊かに暮らしていけるよう努めました。

また、先進的な取組みとして、「がん検診受診促進モデル事業」や「知的障害者通所施設での口腔ケア自立支援」、「若い世代への食生活支援体制づくり」などの事業を進めました。

さらに、平成20年の米国での金融機関破綻に端を発する未曾有の不景気により、「職と住」を同時に失う人々が引き続き増加する中、「貧困の連鎖」解消のため、生活保護・子ども支援員の配置や、「外国籍被保護者等に対する自立支援プログラム」に基づく、神奈川県立国際言語文化アカデミアの協力による外国籍県民の生活保護受給者を対象とした「日本語教室」の開催など福祉支援にも尽力してまいりました。

こうした取組みを網羅的に紹介しておりますので、市町村、医療機関、保健・医療・福祉関係機関、住民の方々におかれましては、是非、ご覧いただき、地域における公衆衛生活動や福祉活動にお役立ていただければ幸いです。

平成24年2月

神奈川県厚木保健福祉事務所長 鈴木仁一

目 次

第1章 概 要

- 1 地域の概況…………… 1
 - (1) 管内略図…………… 1
 - (2) 管内人口及び世帯数等…………… 2
 - (3) 医療関係施設…………… 2
 - (4) その他施設…………… 2
- 2 保健福祉事務所の概況…………… 3
 - (1) 厚木保健福祉事務所の組織…………… 3
 - (2) 職種別職員配置状況…………… 4
 - (3) 平成22年度決算…………… 5

第2章 健康な地域づくりの推進

- 1 生涯健康対策の充実…………… 6
 - (1) 健康づくり対策の充実…………… 6
 - (2) 母子保健対策の充実…………… 9
 - (3) 成人・老人保健対策の充実…………… 17
 - (4) 食生活対策の充実…………… 18
 - (5) 歯科保健対策の充実…………… 26
- 2 感染症・結核対策の充実…………… 30
 - (1) 結核予防事業…………… 30
 - (2) 感染症予防事業…………… 36
 - (3) 性感染症予防…………… 38
 - (4) エイズ予防事業…………… 39
 - (5) 肝臓疾患対策事業…………… 40
- 3 メンタルヘルス対策の充実…………… 41
 - (1) 精神保健福祉事業…………… 41
- 4 老人性認知症疾患対策の充実…………… 48
 - (1) 老人性認知症疾患対策保健所事業…………… 48
- 5 難治性の疾患対策の充実…………… 50
 - (1) 難病患者地域ネットワーク支援事業…………… 50
 - (2) 難病患者等居宅生活支援事業…………… 51
 - (3) 特定疾患医療援護…………… 52
 - (4) 先天性血液凝固因子障害医療給付…………… 53
- 6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業…………… 54
 - (1) 被爆者健康手帳等交付状況…………… 54
 - (2) 被爆者健康診断受診状況…………… 54
- 7 石綿による健康被害の救済支援事業…………… 55
 - (1) 相談対応状況…………… 55
 - (2) 申請状況…………… 55
- 8 地域保健師業務連絡会議等実施状況…………… 56
 - (1) 地域保健師業務連絡会議総会…………… 56
 - (2) 管内保健師研究会…………… 56
 - (3) 管内新任期保健師研修…………… 56
 - (4) 代表幹事会…………… 56
- 9 保健師業務…………… 57
 - (1) 家庭訪問…………… 57
 - (2) 所内指導…………… 57
 - (3) 家庭訪問以外の保健活動…………… 57
- 10 保健福祉サービス連携調整会議…………… 58

第3章 健康で快適な生活環境の確保

- 1 食品保健対策の充実…………… 59
 - (1) 食品関係営業施設の監視指導…………… 59
 - (2) 営業施設数の推移…………… 61
 - (3) 食品・器具等の収去検査…………… 62
 - (4) 違反食品等の発見等…………… 62
 - (5) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況…………… 63
 - (6) 食品衛生講習会…………… 63
 - (7) 苦情処理…………… 64
 - (8) 免許取扱い数…………… 64
- 2 環境保健対策の充実…………… 65
 - (1) 生活衛生指導事業…………… 65
 - (2) 水浴場等対策事業…………… 67
 - (3) 温泉指導監督事業…………… 68
 - (4) 動物保護等対策事業…………… 68
 - (5) 水道指導事業…………… 69
- 3 医薬品等安全対策の充実…………… 70
 - (1) 薬事指導監督事業…………… 70
 - (2) 毒物・劇物指導監督事業…………… 71
 - (3) 麻薬指導監督事業…………… 71
 - (4) 薬物乱用防止対策事業…………… 72

第4章 健やかで安心した生活を支える福祉の推進

- 1 福祉事業の普及・支援…………… 73
 - (1) 地域福祉の事業…………… 73
 - (2) 福祉の貸付事業…………… 76
- 2 福祉事業の推進…………… 77
 - (1) 生活保護…………… 77
 - (2) 障害児者福祉…………… 79
 - (3) 児童福祉…………… 80
 - (4) 女性保護…………… 80
 - (5) 母子寡婦福祉…………… 81

第5章 保健・医療・福祉基盤づくりと連携

- 1 保健医療福祉計画の推進…………… 82
 - (1) 県央地区保健医療福祉推進会議…………… 82
 - (2) 地域医療対策…………… 82
 - (3) 地域・職域連携…………… 83
- 2 保健医療福祉の基盤づくり…………… 84
 - (1) 保健衛生研修…………… 84
 - (2) 保健福祉事務所実習指導…………… 84
 - (3) 医師臨床研修地域保健研修…………… 84
 - (4) 衛生、福祉統計・報告…………… 85
 - (5) 広報活動…………… 85
 - (6) 市町村への支援状況…………… 86
- 3 適正な保健・医療・福祉等の確保…………… 87
 - (1) 医務…………… 87
 - (2) 病院・診療所定期立入検査…………… 87

(3) 医療関係相談	89
(4) 介護保険	90
(5) 免許取扱い数	94
(6) 献血	94
(7) 表彰	95
4 健康危機管理対策	97
(1) 災害対策	97

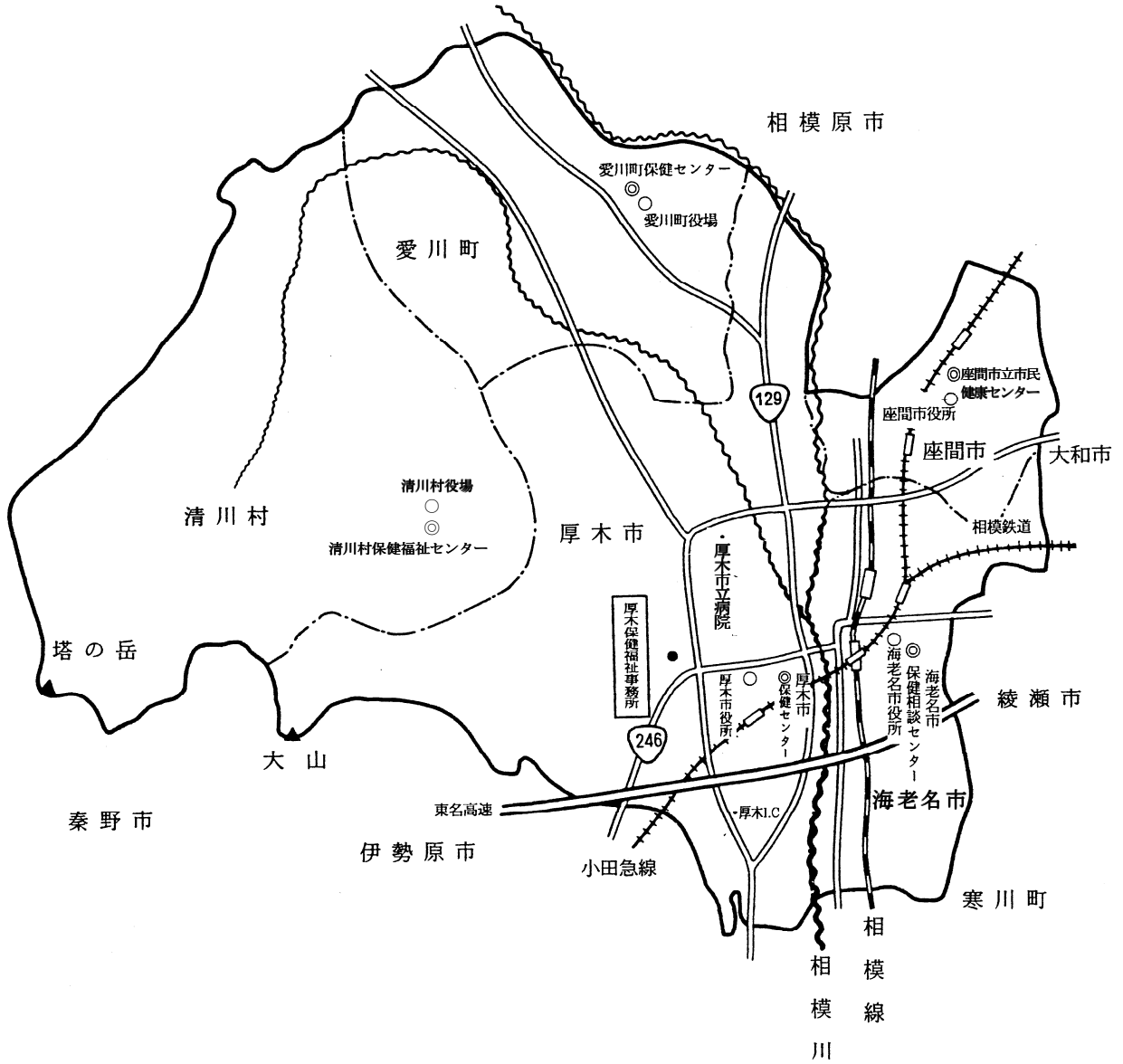
第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	98
(1) 沿革	98
(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長	100
(3) 施設の状況	100
2 各種協議会委員一覧	101
(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿	101
(2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿	101
(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会委員名簿	102
(4) 神奈川県介護保険審査会介護認定審査部会（第3部会）委員名簿	102
3 地域保健推進特別事業	103
4 職員の研究・学会等発表	103

第1章 概 要

1 地域の概況	1
2 保健福祉事務所の概況	3

1 地域の概況
(1) 管内略図



(2) 管内人口及び世帯数等

(平成23年4月1日現在)

区分	面積 (k㎡)	世帯数	人 口			人口密度 (人/k㎡)	1世帯当たり 人口(人)
			総数(人)	男(人)	女(人)		
厚木市	93.83	92,600	223,972	—	—	2,387	2.42
海老名市	26.48	50,811	127,810	—	—	4,827	2.52
座間市	17.58	54,217	129,143	—	—	7,346	2.38
愛川町	34.29	16,005	41,711	—	—	1,216	2.61
清川村	71.29	1,192	3,423	—	—	48	2.87
合計	243.47	214,825	526,059	—	—	2,161	2.45

神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」(統計課)より

(3) 医療関係施設

(平成23年3月31日現在)

区 分		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
医療施設 等	病 院	22	12	5	3	1	1
	一 般 診 療 所	318	150	83	64	19	2
	歯 科 診 療 所	234	106	59	55	13	1
	助 産 所	9	6	2		1	
	歯 科 技 工 所	84	47	17	13	6	1
薬事施設	薬 局	155	78	35	31	11	
	医 薬 品 販 売 業	173	110	28	26	9	
施術所	あんま・はり・きゅう	397	159	98	108	28	4
	柔 道 整 復	84	36	23	22	3	

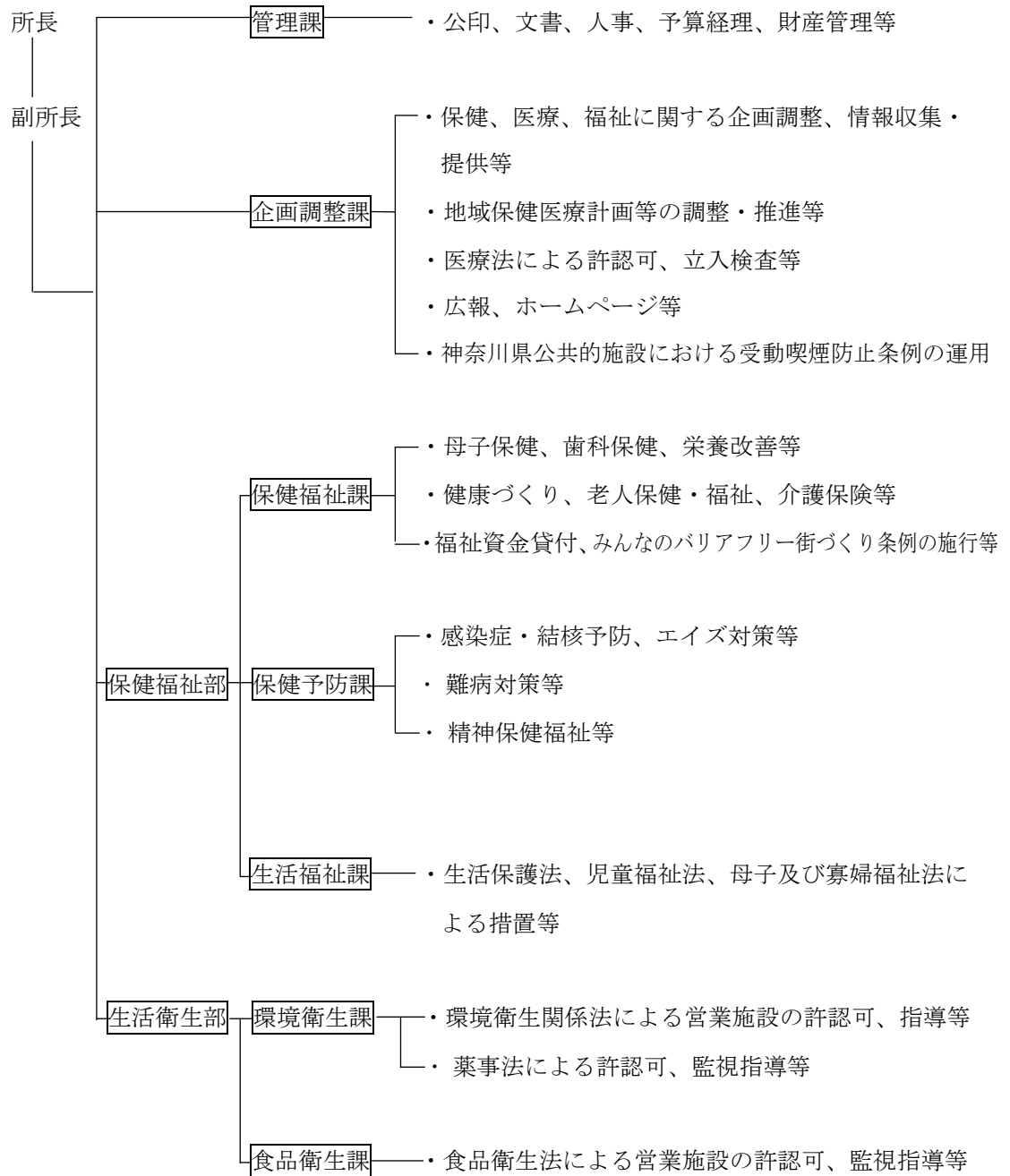
(4) その他施設

(平成23年3月31日現在)

区 分		総 数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
児童福祉 施 設	保 育 所	公 立	26	6	5	9	6
		私 立	34	15	10	9	

2 保健福祉事務所の概況

(1) 厚木保健福祉事務所の組織



(2) 職種別職員配置状況

平成 23 年 3 月 31 日現在

	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 X 線 職	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 職	そ の 他	計	備考
所 長			1										1	
副 所 長	1												1	
部 長				1						1			2	
管 理 課	(1) 6										(2) 1		(3) 7	
企画調整課	(5) 6							2					(5) 8	
保健福祉課	(3) 9	1				(1) 1	3	8					(4) 22	
保健予防課	(1) 2	3	(5) 1		(2) 1			(1) 6				(1)	(10) 13	
生活福祉課		7	(2)									(3)	(5) 7	
環境衛生課									1	(1) 6			(1) 7	
食品衛生課										10			10	
合 計	(10) 24	11	(7) 2	1	(2) 1	(1) 1	3	(1) 16	1	(1) 17	(2) 1	(4)	(28) 78	

() は非常勤で外数

(3) 平成 22 年度決算

ア 収入状況

科 目 \ 年 度	平成22年度(円)	平成21年度(円)	比較増減(円)
分担金及び負担金	4,701,213	5,072,789	△371,576
使用料及び手数料	31,167,070	32,556,660	△1,389,590
諸 収 入	8,163,543	7,595,636	567,907
(雑 入)	(8,163,543)	(7,595,636)	(567,907)
合 計	44,031,826	45,225,085	△1,193,259

イ 支出状況

(ア) 一般会計

科 目 \ 年 度	平成22年度(円)	平成21年度(円)	比較増減(円)
総 務 費	44,491,967	41,559,250	2,932,717
(総務管理費)	(44,491,967)	(41,559,250)	(2,932,717)
民 生 費	485,828,428	443,365,635	42,462,793
(社会福祉費)	(65,547,681)	(65,614,610)	(△66,929)
(児童福祉費)	(5,999,777)	(8,774,598)	(△2,774,821)
(障害福祉費)	(8,153,849)	(7,382,540)	(771,309)
(老人福祉費)	(1,266,143)	(1,524,635)	(△258,492)
(生活保護費)	(404,860,978)	(360,069,252)	(44,791,726)
衛 生 費	25,836,823	29,156,169	△3,319,346
(公衆衛生費)	(10,890,772)	(11,822,344)	(△931,572)
(環境衛生費)	(728,787)	(1,155,920)	(△427,133)
(保健所費)	(13,446,229)	(15,247,705)	(△1,801,476)
(医薬費)	(771,035)	(930,200)	(△159,165)
労 働 費	0	2,196,921	△2,196,921
(雇用対策費)	(0)	(2,196,921)	(△2,196,921)
土 木 費	2,971,605	2,441,250	530,355
(土木管理費)	(2,971,605)	(2,441,250)	(530,355)
県 民 費	3,929,016	4,102,924	△173,908
(県民費)	(3,929,016)	(4,102,924)	(△173,908)
合 計	563,057,839	522,822,149	40,235,690

(イ) 特別会計

科 目 \ 年 度	平成22年度(円)	平成21年度(円)	比較増減(円)
母子寡婦福祉資金	22,020	35,000	△12,980

第2章

健康な地域づくりの推進

1 生涯健康対策の充実	6
2 感染症・結核対策の充実	30
3 メンタルヘルス対策の充実	41
4 老人性認知症疾患対策の充実	48
5 難治性の疾患対策の充実	50
6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業	54
7 石綿による健康被害の救済支援事業	55
8 地域保健師業務連絡会議等実施状況	56
9 保健師業務	57
10 保健福祉サービス連携調整会議	58

1 生涯健康対策の充実

(1) 健康づくり対策の充実

ア 禁煙・分煙の普及啓発と推進

(ア) 地域禁煙推進サポート事業

a 地域禁煙サポート会議

海老名市において、家庭・教育現場・地域の喫煙防止活動のネットワークの推進を図ることにより、子どもたちが将来喫煙者にならないよう、子どもたちをたばこの煙から守るための活動を促進しました。

開催日	内 容	構成員	出席者(人)
9月22日	・当ネットワーク昨年度活動報告 ・関係機関・関係者の活動状況報告 ・今年度活動計画(案)について	教育関係者・医師会・薬剤師会・卒煙者・行政等	14
1月29日	・今年度活動報告 ・報告書の作成について		15

b 地域禁煙サポート研修

開催日	内 容	対象者	参加者(人)
2月8日	たばこ対策推進フォーラム 『「今こそたばこ！」～たばこについて再確認 しましょう～』 講師・コーディネーター 静岡市保健所長 加治 正行 パネルディスカッション 多摩府中保健所保健対策課医師 吉見 逸郎 碧水会長谷川病院医師 原田 久 大和保健福祉事務所保健福祉課 保健師 海老名市健康づくり課 保健師 厚木保健福祉事務所企画調整課 条例担当者	行政職員	45

c 地域禁煙サポート教育

開催日	内 容	対 象	参加者(人)
5月27日	大学における禁煙講演会 「タバコの正体～あなたは毒を食べている?～」	東京工芸大学厚木 キャンパス学生・職員	14
5月30日	「受動喫煙防止条例キャンペーン」における禁煙 推進啓発活動 スモーカーライザー体験、相談	JAあつぎ 夢未市 来所者	6
	世界禁煙デー啓発チラシ配布		400
6月6日	愛の禁煙キャンペーン スモーカーライザー体験、相談	海老名市民他	53
6月23日 ～25日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー スモーカーライザー体験、相談	清川村民	23
	クイズ解説、パンフレット配布		205

10月6日	食生活改善推進員研修会 「タバコの正体～あなたは毒と断言できますか?～」	管内食生活改善推進員	32
10月24日	「薬物乱用防止キャンペーン」禁煙コーナー スモーカーライザー体験、相談	海老名市民他	33
11月6日	厚木大道芸 禁煙コーナー やにけん検査・パンフレット配布	一般市民	250
1月29日	講演会「子どもたちをたばこの煙から守るには ～今、私たちにできること～」 シンポジウム 医療・保健・教育・市民の立場から	海老名市民他	45
3月7日	県職員「健康管理・人権研修」 「タバコの正体～あなたと家族は毒を食べている?～」	水道営業所職員	50
	同時実施 スモーカーライザー体験		3

d 地域禁煙サポート相談

件数	17
----	----

(ウ) 保健福祉事務所長等による高校生への喫煙防止教育

未成年者の喫煙防止対策を一層充実させるため、健康に深刻な影響を与えるたばこについて、高校生が適切な意思決定や行動ができるよう、神奈川県力まると活用事業の一環として、平成21年度から平成23年度までの3年間に全県立高校で原則各1回以上実施することになり、管内及び相模原市内の県立高校に対し、保健福祉事務所長等により喫煙防止教育を実施しました。

平成22年度実施状況

学校名	実施日	対象者・数(人)
津久井高校(全日制)	7月9日	1年生241 教員等30
海老名高校	7月12日	2年生364
愛川高校	7月12日	1年生240 教員等16
厚木東高校	7月16日	1年生280 教員等14
厚木清南高校	9月14日	2年生240
中央農業高校	9月30日	1年生195
厚木高校	3月10日	1年生241名 教員等30名

(エ) 受動喫煙防止条例の推進

平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、施設管理者向け説明会、県民向け周知キャンペーン、条例の周知と施設の現状の確認を目的とした戸別訪問等に重点的に取り組みました。

a 施設管理者向け説明会の実施

項 目	回数	参加者 (人)
各種講習会等合同説明会	76	5,342
個別対応説明会	2	73

b 県民向け周知キャンペーン（チラシ等配布）の実施

項 目	回数	配布枚数 (枚)
街頭キャンペーン	7	4,800
市町村健康まつり等	7	1,581
学園祭参加	3	1,800

c 戸別訪問等実施件数（市町村別延件数）

地 域	訪問等件数 (件)
厚木市	1,064
海老名市	532
座間市	188
愛川町	80
清川村	29
相模原市	1,439
合 計	3,332

d その他の周知活動

J A 県央愛川有線放送出演、来所、電話相談への対応等

(2) 母子保健対策の充実

母子保健事業

保健福祉事務所では市町村と連携を密に図り、長期化、深刻化が予想される対象への支援に努めつつ、母子保健事業を展開しました。

ア 養育支援事業（平成 17 年度～）

発達や発育等の障害や疾病を持ち、長期に療養を必要とする子どもや、未熟児等養育上の課題を持つ子ども及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、適切な支援を行い、子どものすこやかな発育・発達を促進させるための事業を実施しました。

(ア) 訪問指導

a 未熟児把握状況

区分 市町村名	総 数	把握方法（体重別）（人）											
		1,000g 未満			1,000～1,499g			1,500～1,799g			1,800～1,999g		
		出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他
厚木市	220	1		5	3		5	4	2	6	12	1	7
海老名市	107	3		3		1	6	1		4	4	1	2
座間市	107	2		1	4		2	2		2	2	1	4
愛川町	33	1		2			1	1		1			
清川村	0												
合計	467	7	0	11	7	1	14	8	2	13	18	3	13

区分 市町村名	把握方法（体重別）（人）					
	2,000g～2,499g			2,500g 以上の 養育医療		
	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他
厚木市	107	12	54			1
海老名市	59	7	14			2
座間市	61	2	19	1		4
愛川町	2	3	21			1
清川村						
合計	229	24	108	1	0	8

b 未熟児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実 数 計	延 数 計	体 重 別 訪 問 指 導 数 (件)							
			1,000g 未満		1,000g ~ 1,499g		1,500g ~ 1,799g		1,800g ~ 1,999g	
			実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
総 数	447	593	19	35	30	40	26	44	39	56
厚 木 市	205	264	10	24	8	9	13	18	17	23
海老名市	119	186	6	7	9	15	7	18	12	21
座 間 市	86	101	1	2	8	10	3	3	7	9
愛 川 町	37	42	2	2	5	6	3	5	3	3
清 川 村	0	0								

区分 市町村名	体 重 別 訪 問 指 導 数 (件)			
	2,000g ~ 2,499g		2,500g 以上の 養 育 医 療	
	実数	延数	実数	延数
総 数	327	410	6	8
厚 木 市	155	187	2	3
海老名市	85	125		
座 間 市	64	73	3	4
愛 川 町	23	25	1	1
清 川 村				

c 慢性疾患児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実数 (人)	延数 (人)
総 数	52	99
厚 木 市	15	25
海老名市	19	47
座 間 市	16	25
愛 川 町	2	2
清 川 村		

(イ) 養育相談(発達専門相談)

低出生体重児や長期療養児等のうち発育や発達について必要があると思われる子どもに対し、専門医師等による相談を実施しました。

開設回数	来所者数		把握方法(実数)											医療機関	その他		
	実数(人)	延数(人)	保健福祉事務所				市町村										
			未熟児	小児特定疾患	家庭訪問	その他	乳幼児健診				育児相談	家庭訪問	その他				
							4か月児	8～10か月児	1歳6か月児	3歳6か月児							
12	47	113	44			3											

相談目的(重複)								処遇(重複)					
成長	発達	疾病	栄養	生活	未熟児	養育の問題	その他	問題なし	再受診	家庭訪問	電話確認	医療機関紹介	その他
96	96	1	52			14		26	74	2	7	2	

(ウ) 集団指導

a 養育支援教室

教室名	開催日	内容	講師等	参加者(人)
未熟児支援教室 (H21年度生まれの低出生体重児と保護者)	10月8日	講演 小さく生まれた子のママ・パパへ 「こどもの特徴を知って育児に生かそう」	厚木市立病院小児科 医師 村山 静子	親 13 子 14
未熟児支援教室 (H21年度生まれの低出生体重児と保護者)	10月28日	親子遊び 「こどもと一緒に楽しく遊ぼう」	厚木市子ども育成課 子育て支援センター 保育士 湯川 知枝	親 12 子 12
未熟児支援教室 (H21.12～H23.1までに生まれた低出生体重児と保護者)	5月25日	講演・実技 ベビーマッサージの効果と実技	フリー助産師 助産師 張ヶ谷智子	親 24 子 18 その他 1
	9月12日			
	2月15日			

教室名	開催日	内 容	講 師 等	参加者 (人)
多胎児支援教室 (多胎児とその保護者)	11月30日	講演・交流会 おもちゃ広場 「みんなで楽しくおも ちゃであそぼう！」	おもちゃコンサルタント 大塚 照子	親 12 子 22 その他 2
介護教室 (医療機器等装着児とその保護者)	5月18日	交流会・情報提供 「みんなで考えよう！わが家 の防災」	厚木保健福祉事務所 保健福祉課 主査 中丸 由美子	親 6 子 3 その他 2
	11月24日	講演・実技 「ふんわりアロマでリフレッ シュ〜香りを楽しみながら こころとからだをほぐしま しょう〜」	日本チャイルドボディ ワークセラピスト 岩下 祐子	親 9 子 9
	12月7日	講演・実技 「ベビー&キッズマッサージ 〜親子で楽しくスキンシッ プ〜」	日本チャイルドボディ ワークセラピスト 岩下 祐子	親 7 子 7
ダウン症教室	8月27日	ダウン症児の歩行支援 相談会・Part. 1	帝京平成大学健康メ ディカル学部理学療 法学科 教授 田中 千恵美	親 14 子 14 その他 8
	9月10日	ダウン症児の歩行支援 相談会・Part. 2	厚木市子ども育成課 子育て支援センター 保育士 湯川 知枝	親 12 子 12 その他 1

b 家族教室

教室名	回数 (回)	内 容	参加延人数	
未熟児親の会	パンダクラブ	7	情報交換・交流会 学習会	144
多胎児親の会	スマイルチェリー	8	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	119
ダウン症児親の会	ひまわり会	12	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	151
喘息児親の会	喘息サークル	7	情報交換・交流会 学習会	60

(エ) 養育困難事例検討

コンサルテーション

開催日	内 容	講師	出席者	参加者(人)
12月15日	親がメンタル面の 課題を抱える養育 困難事例に対する 対応について	あつぎ診療クリ ニック 医師 寺岡菜穂子	管内市町村母子保健担 当者、子育て支援担当 者、障害福祉担当者、 児童相談所職員 保健福祉事務所職員	21

イ 生涯を通じた女性の保健相談等事業（平成10年度～）

女性は、妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えていることがあります。そのため、女性がその健康状態に応じ、的確に自己管理ができるよう気軽に相談できる場を開設しました。

(ア) 一般相談

総 数 (件)	相談方法			相談回数			相談者		相談契機				
	電 話	面 接	そ の 他	初 回	1 回	2 回 以 上	本 人	そ の 他	広 報	市 町 村	保 健 福 祉 所	事 務 所	そ の 他
6	6			6			2	4	2				4

a 主訴区分

区分 年代	総 数 (件)	妊 娠	避 妊	不 妊	性	メン タル ケア	婦 人 科	更 年 期	性 感 染 症	泌 尿 器	そ の 他
10代											
20代	2	1									1
30代	4	2	1	1							
40代											
50代											
60代以上											
合 計	6	3	1	1							1

b 事後指導

区分 年代	総 数 (件)	助 言	専 門 相 談	電 話 継 続	訪 問 継 続	医 療 機 関 紹 介	他 機 関 紹 介	そ の 他
10代								
20代	2	2						
30代	4	3					1	
40代								
50代								
60代以上								
合 計	6	5					1	

ウ 思春期保健事業（昭和 62 年度～）

思春期男女の心身の健全な成長と、将来の母性の健康増進を図ることを目的に、思春期特有の医学的問題、性に関する不安や悩み等に対して個別相談を実施しました。

相談なし

エ 特定不妊治療費助成事業（平成 16 年度～）

指定医療機関で体外受精及び顕微授精を受けた場合の治療に要する費用の一部を助成しました。

総数(件)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	その他市町村
387	135	112	114	22	2	2

オ 不妊相談事業（平成 16 年度～）

不妊等に関する相談を面接又は電話により受けました。

相談なし

カ 母子保健対策推進事業

(ア) 母子保健委員会

管内市町村が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、各種母子保健事業の課題の検討や実績等の分析評価を行うことにより、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	出席者(人)
1月28日	1 管内の母子保健の動向と母子保健事業について 2 精神疾患(疑いを含む)を持つ保護者の育児支援について	18

(イ) 母子保健部会

開催日	内 容	出席者(人)
6月30日	1 精神疾患(疑いを含む)を持つ保護者の育児支援 福祉制度や精神疾患の理解と対応	22
12月15日	1 精神疾患(疑いを含む)を持つ保護者の育児支援 管内を中心とした相談窓口一覧作成 2 管内市町村の乳幼児全戸訪問、養育支援訪問事業 情報交換及び課題の共有	21

(ウ) 母子保健研修会

開催日	内 容	講師等	参加者(人)
8月12日	テーマ「妊産婦訪問時のスキルアップ」 1 周産期メンタルヘルスの基礎知識 2 コミュニケーションスキルの基本	日本赤十字看護大学母性看護学・大学院国際保健助産学教授 井村 真澄	28

キ 小児の医療援護

(ア) 自立支援医療費（育成医療）給付（平成18年度～）

18歳未満の身体障害児が指定医療機関で治療を受けたときの費用の一部を給付しました（原則として医療費の10%を自己負担。ただし、負担上限額あり。医療機関において自己負担金を徴収）。

区分	総 数 (件)	肢 体 不 自 由	視 覚 障 害	聴 覚 平 衡 機 能 障 害	音 声 言 語 そ し ゃ く 害	機 能 障 害	心 臓 障 害	腎 臓 障 害	小 腸 機 能 障 害	そ の 他 内 臓 障 害	免 疫 機 能 障 害
市町村名											
総 数	49	10	3	1	12	13	1	1	8		
厚 木 市	18	5			8	4			1		
海老名市	12	2	1		3	2		1	3		
座 間 市	11	2	2	1		1	1		4		
愛 川 町	7	1			1	5					
清 川 村	1					1					

(イ) 小児慢性特定疾患医療給付（平成17年度～）

小児慢性特定疾患に罹患し、対象基準に該当する18歳未満の児童（継続申請に限り20歳未満）が、委託医療機関で治療を受けたときの費用を給付しました（保護者の所得税額により医療機関において自己負担金を徴収）。

区分 市町村名	総 数 (件)	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 友 病 等 血 液 疾 患	患 ・ 免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患
総 数	388	56	31	2	74	118	18	34	21	16	11	7	
厚 木 市	170	27	10	1	23	57	10	17	10	5	7	3	
海老名市	104	16	11		27	27	2	9	5	5	2		
座 間 市	68	8	5	1	17	20	5	3	1	4	1	3	
愛 川 町	45	5	5		7	13	1	5	5	2	1	1	
清 川 村	1					1							

(ウ) 未熟児等養育医療給付（昭和33年度～）

未熟児は正常の新生児と比べ、疾病にかかり易く死亡率も高いことから、出生後速やかに適切な処置を講じる必要があるため、指定医療機関において必要な医療の給付を行いました（保護者の所得税額により当所において自己負担金を徴収）。

区分 市町村名	総 数 (件)	1,000g 以下	1,001g～ 1,500g	1,501g～ 1,800g	1,801g～ 2,000g	2,001g～ 2,300g	2,301g～ 2,500g	2,501g 以上
総 数	97	15	23	17	21	8	4	9
厚 木 市	32	5	10	7	8	1		1
海老名市	26	5	6	3	6	3	2	1
座 間 市	29	3	5	3	6	4	2	6
愛 川 町	10	2	2	4	1			1
清 川 村								

(エ) 療育医療給付（昭和36年度～）

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行いました。

申請なし

(3) 成人・老人保健対策の充実

ア 健康増進・高齢者保健福祉委員会（平成13年度～）

保健福祉事務所並びに市町村が実施する健康増進事業及び高齢者保健福祉事業について関係機関相互の連携や支援体制整備について意見交換・協議をしました。

(ア) 高齢者保健福祉委員会開催状況

開催日	内 容	出席者(人)
2月17日	1 がん検診受診促進モデル事業調査結果の検討 2 健康増進・高齢者保健福祉実務担当者部会報告 3 清川村健康増進計画・食育推進計画の推進状況報告	16

(イ) 高齢者保健福祉実務担当者会議・研修

開催日	内 容	出席者(人)
健康増進 7月14日	担当者会議 健康増進事業及び特定健康診査・特定保健指導に関する事前質問事項による情報交換	13
健康増進 2月3日	担当者研修会 「地域職域相互理解から始まる新たな活動視点」 講師 県立保健福祉大学 地域看護学准教授	12
介護予防 6月23日	担当者会議 介護予防事業の取組みについて情報交換 研修会「高齢者の摂食嚥下機能を理解するために」 講師 東名厚木病院 摂食嚥下療法部 課長（看護職）	会議 6 研修会 30

イ 高齢者虐待防止活動

東日本大震災の影響により中止

ウ 市町村保健サービス評価支援活動

市町村が行う保健事業の一層の充実強化を図るため、市町村が自ら行う保健事業の評価について支援しました。

- ・事業名 健康増進計画・食育推進計画 評価活動
- ・実施市町村名 清川村

(ア) 推進協議会

開催日	内 容	場 所	出席者(人)
7月8日	今後の計画推進について	清川村 保健福祉	17
11月5日	平成23年度の計画推進にむけて	センター	16

(イ) 事務局会議

開催日	内 容	講 師	場 所	出席者(人)
9月16日	事業推進をしながらの事業評価	東海大学医学部 公衆衛生学 准教授 渡辺 良久	清川村 保健福祉 センター	4
12月17日	事業評価～来年度計画推進にむけて～①			4
2月7日	事業評価～来年度計画推進にむけて～②			4

エ 救急法普及啓発事業

ふたご・みつごの会に参加する親子を対象に、子どもの事故防止・訓練用AEDと訓練用人形を用いた心肺蘇生法救急法講習会を実施しました。

開催日	内 容	参加者(人)
9月14日	講義及び実習 「応急手当の基礎知識・子供の事故防止を学ぼう」 講師 保健福祉課保健師	32

(4) 食生活対策の充実

ア かながわ健康プラン21 栄養・食生活対策

(ア) 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域で総合的な食生活改善活動を効果的に推進していくことを目的として、食生活の実態把握・診断及びそれに基づく食生活改善方策、関連分野との連携について協議しました。

開催日	協 議 内 容	出席者(人)
3月4日	若い世代への食生活支援体制づくりについて	8

(イ) 若い世代(20,30歳代)への食生活支援体制づくり事業【地域保健推進特別事業】（平成21年度～）

a 若い世代への食生活支援体制づくりのための検討会

開催日	協 議 内 容	出席者(人)
12月22日	・平成21年度 若い世代への食生活支援体制づくり事業報告について ・平成22年度の事業経過について ・これからの事業について	10

b 若い世代への健康づくりをテーマにした食生活支援研修会

開催日	内 容	対 象	参加者 (人)
12月22日	テーマ「若い人の健康づくりを考えよう！！」 講演「若い世代の健康課題について～若い人の特徴と効果的なアプローチ方法とは～」 講師 神奈川工科大学 栄養生命科学科 教授 江指 隆年	事業所の労務安全衛生 担当者・健康づくり担 当者・給食部門担当者 (管理栄養士・看護 師・産業医等)、市町村 職員、若い世代への食 生活支援体制づくりの ための検討会委員等	30

(ウ) 糖尿病食生活支援体制づくり事業 (平成18年度～)

糖尿病の予防、進行防止対策を目的として、働く世代を中心とした糖尿病食生活支援のため、人材育成研修及び中小事業所へ食生活指導者を派遣し、糖尿病の予防、進行及び重症化防止を推進しました。

a 糖尿病保健指導者研修会

診療所や市町村等の地域で糖尿病の保健指導に携わる管理栄養士、看護師、保健師等を対象に研修会を開催しました。

開催日	研 修 内 容	講 師	参加者 (人)
11月30日	講演「糖尿病と歯周病～歯周病管理の重要性～」	東京医科歯科大学大学院 准教授 新田 浩	37
12月16日	講演「慢性腎臓病 (CKD) における栄養指導の実際」	昭和大学藤が丘病院栄養科 科長補佐 菅野 丈夫	21

b 事業所への食生活指導者派遣事業

食生活指導者を1名派遣し、健康診断結果や会社の特性による社員の生活実態に合わせた食生活指導を行いました。

派遣会社 トラック会社 (運輸交通業)

開催日	内 容	参加者 (人)
3月5日	生活習慣病予防	50

c 地域情報の提供、相談

診療所や市町村等に対し、当所作成「血糖値が高めの方への情報ガイド」の配布により地域情報の提供を行いました。

(エ) 栄養・食生活対策推進事業（平成18年度～）

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

内容	区分	集 団 指 導		備 考
		回数 (回)	延人数(人)	
総 数		6	349	
職域等と連携した生活習慣病予防対策		1	30	産業保健委員会メンバーの看護師、保健師
		1	57	水道局職員
地域と連携した栄養・食生活対策		3	242	小学生・中学生、保護者等
		1	20	幼児・児童をもつ保護者等

(オ) 栄養表示等適正化推進事業（平成8年度～）

健康づくりや生活習慣病予防のために、栄養表示基準制度の普及啓発と活用を推進するとともに、表示の適正化について指導・調査を行いました。

a 普及啓発講習会

対象	区分	回数(回)	参加延人数	内 容
事業者		2	348	栄養表示基準制度の普及啓発
消費者		1	60	栄養表示の活用方法
給食施設		1	310	給食施設におけるヘルシーメニューの展示
合計		4	718	

b 事業者に対する表示適正化指導

区分	内容	健 康 増 進 法			合 計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
件 数 (件)			7	1	8
延 回 数			8	1	9

c 収去・買取調査

区分		健康増進法			合計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
収去	件数(件)				
栄養表示 状況調査	件数(件)		8		8
サンプリング 調査	件数(件)		13		13

(カ) 専門的栄養指導・食生活支援事業（平成6年度～）

糖尿病、脂質異常症等の疾病を持つ人及びその家族等に対し、個々に適応した相談を行うとともに、それらに関わる支援者に対し、相談技法や食生活指導の実際について研修会を開催しました。

a 専門栄養相談

疾病別件数 (件)					乳幼児(未熟児 嚥下障害等) (件)
糖尿病合併症	脂質異常症・ 肥満合併症	肝・腎臓疾患	難病	その他	
6	2		3	19	95

b 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者に対し保健指導技術の向上及び事業の円滑実施のための研修会を開催しました。

開催日	内 容	講 師	対 象	参加者(人)
5月27日	テーマ「お口の機能から子どもの食事を考えよう」 (1) 講演「栄養士が知っておきたい乳幼児期の歯の健康」 (2) 意見交換・グループワーク	保健福祉 事務所職員 (歯科医師、 歯科衛生士)	市町村に勤 務する管理 栄養士等	10
6月11日	テーマ「お口の機能から子どもの食事を考えよう」 (1) 講話・調理実習「かむ機能から乳児・ 幼児の食事を考えよう」 (2) 意見交換・グループワーク	保健福祉 事務所職員 (管理栄養士)		8
6月24日	テーマ「保健指導のスキルアップを図ろう！」 (1) 講話・調理実習「カロリースケール を活用した栄養管理を考えよう」 (2) 意見交換・グループワーク	保健福祉 事務所職員 (管理栄養士)		9

(キ) 市町村支援

管内栄養改善業務連絡調整

保健福祉事務所と市町村の栄養改善業務の効果的推進及び共有化を図るため、会議を開催しました。

会議名	開催日	内容
管内市町村 栄養改善業務 連絡調整会議 (担当者会議)	6月8日	・平成22年度栄養改善業務計画について ・食生活改善推進員養成講座合同講座について ・市町村健康増進計画等について
	10月20日	・栄養改善業務の進捗状況について ・食生活改善推進団体の活動について

(ク) 地域保健活動推進研修（平成18年度～）

地域住民の健康の増進を目的とした栄養指導その他保健指導に必要な専門知識及び技術を修得するために県、市町村等の地域保健担当者を対象に研修を行いました。

開催日	内容	講師	参加者(人)
2月4日	講演「発達過程を踏まえた食育の推進～特に保育所の食育活動から～」	白梅学園短期大学保育科 教授 師岡 章	56
	事例紹介「地域での食育活動～大学での食育講習会を開催して～」	紹介者 コープかな がわ厚木市・愛甲郡エ リア会	

(ケ) 人材育成

a 食生活改善推進団体あゆみ会の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善の自主的な実践活動を展開するための育成指導を行いました。

指導回数(回)	延人数(人)	備考
28	851	会員数 474人

b 在宅栄養士の育成

市町村をはじめ地域で食生活改善活動を行っている在宅栄養士会の育成支援を行いました。

回数(回)	延人数(人)	備考
6	43	フリー栄養士の会会員 フリー栄養士定例会

(コ) 国民健康・栄養調査（昭和 20 年度～）

実施地区	対象世帯数 (世帯)	実施世帯数 (世帯)	実施人数 (人)	内 容
座間市相模が丘	14	6	21	栄養摂取状況調査・身体 状況調査・生活習慣調査
座間市ひばりが丘	15	11	23	

イ 特定給食等指導（昭和 27 年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づく特定給食施設等に対し、講習会や実地指導等により必要な指導・助言を行い、利用者の健康づくりを推進しました。

また、給食施設栄養管理報告書により栄養管理状況の把握を行うとともに、管理栄養士の配置が必要な特定給食施設に対して指定及び取消し等の指導を行い、栄養管理の充実を図りました。

(ア) 特定給食施設講習会

区 分	実施 回数	開催日	内 容	講 師	参 加 施設数	参加者 (人)
総 数	3				389	483
全 体 講 習 会	2	7月9日	講演「給食利用者の健康づくり～日本人の食事摂取基準(2010年版)をふまえて～」	神奈川県立保健福祉大学 講師 五味 郁子	122	143
		7月15日	講演「衛生管理～食中毒を予防しよう～」	保健福祉事務所職員 (食品衛生監視員)	240	310
	講演「加工食品のアレルギー表示について」		県衛生研究所 渡邊 裕子			
(病院・ 種別講習会 介護保険施設)	1	2月28日	講演「よりよい個別栄養管理を目指して～継続的な品質改善活動と評価～」 グループワーク	社会医療法人ジャパン メディカルアライアンス 海老名総合病院 管理栄養士 清水 陽平	27	30

(イ) 健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

区 分		管理栄養士のみいる	栄養士のみいる	どちらもいる	どちらもいない	延 指 導 件数 (件)
		施設数	施設数	施設数	施設数	
管理栄養士配置施設①	学 校					
	病 院			7		7
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	7	3	4		16
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	7	3	11		23	
1回300食以上又は1日750食以上②	学 校	19	12	3	3	37
	病 院					
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	3	3		5	6
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	22	15	3	8	43	
1回100食以上又は1日250食以上③	学 校	2	5	1	3	6
	病 院			10		12
	介護老健	2		5		6
	老人福祉	3		8		12
	児童福祉	1	7	2	13	17
	社会福祉	1	2	2		4
	事業所	5	5		20	19
	寄宿舎					
	自衛隊	1				
	その他				1	2
合 計	15	19	28	37	78	
その他の給食施設	学 校					
	病 院	2		3		6
	介護老健			2		2
	老人福祉		2	6	1	9
	児童福祉	5	7		27	26
	社会福祉	2	2	3	4	7
	事業所		5	3	24	18
	寄宿舎				3	
	自衛隊					
	その他		6	3	3	7
合 計	9	22	20	62	75	

(ウ) 給食施設栄養管理報告書の提出状況

区 分	対象施設数 (箇所)	提出施設数 (箇所)	電子届出数(再掲) (件)
学 校	48	48	
病 院	22	22	6
介 護 老 健	9	9	2
老 人 福 祉	20	20	11
児 童 福 祉	61	61	23
社 会 福 祉	15	15	7
事 業 所	85	85	4
寄 宿 舎	3	3	
自 衛 隊	1	1	
そ の 他	12	12	1
合 計	276	276	54

(5) 歯科保健対策の充実

ア 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業（平成7年度～）

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数 (回)	受診者数(人)			予防処置者数(人)			
	初診	再診	合計 (延人数)	フッ素 塗布者数	フッ化ジアン ミン銀塗布者数	フッ素 液磨き	合計 (延人数)
75	238	303	541	320	219	0	539

(イ) 初診者の把握経路

区分 市町村名	市町村事業(人)				保健福祉 事務所事業 (人)
	1歳児歯科教室	1歳6か月児健診	2歳児健診	その他	
厚木市	0	23	27	0	2
海老名市	2	36	14	0	0
座間市	11	37	30	1	0
愛川町	6	8	11	0	0
清川村	0	0	0	30	0
合計	19	104	82	31	2

(ウ) 初診者のう蝕有病状況

把握事業名 区分	受診者数 (人)	う蝕の状況(人)		
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
1歳児歯科教室	19	3	4	12
1歳6か月児健診	104	35	20	49
2歳児健診	82	29	14	39
その他	31	4	1	26
保健福祉事務所事業	2	1		1
合計	238	72	39	127

イ 歯周疾患予防対策事業（歯ぐき検診）（昭和63年度～）

(ア) 歯科検診・保健指導

開設回数 (回)	受診者数(延人数)		
	初診	再診	合計
2	3		3

(イ) 状態別状況（初診）

区分 年齢	健康	歯肉出血	歯石沈着	浅いポケット	深いポケット	機能喪失	合計 (人)
20～29歳	2						2
30～39歳		1					1
その他							0

ウ 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業（平成9年度～）

（ア）被訪問者数

被訪問者状況		年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計（人）	
		※	※	※	※	※	※	※	※						
新 規 者 （ 把 握 経 路 別 ）	保健福祉 事務所事業	1	(1)							2	(2)	1	(1)	4	(4)
	市町村事業														
	家族依頼														
	その他														
年度新規者		1		1	(1)									2	(1)
被訪問者実数		2	(1)	1	(1)					2	(2)	1	(1)	6	(5)
被訪問者延数		5	(4)	3	(3)					6	(6)	6	(6)	20	(19)

※ 各年齢区分欄の右側：（ ）内は、身障・療育手帳保持者（再掲）

（イ）全新規者の疾患状況

疾患名	年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計（人）	
	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
慢性疾患児・障害児			1		1									2
特定疾患者									2		1			3
脳血管障害後遺症者														
認知症疾患者														
その他			1											1
合計			2		1				2		1			6

エ 障害児者等歯科保健事業（昭和59年度～）

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数 （回）	受診者数 延人数 （実人数）	実施内容内訳（延人数）（人）			
		口腔内診査	保健指導	予防処置	摂食 訓練 等
25	274 (160)	160	268	106	30

オ 健康教育

区 分	母 子	学童・生徒	成人・老人	障 害 者
実施回数 (回)	4	2	0	4
受講者数 (人)	106	100	0	69

カ 人材の育成 (研修・講習会)

研修・講習会名	開設回数 (回)	参加者数 (延人数)	内 容
厚木管内在宅歯科衛生士勉強会	4	39	・乳幼児健診における支援方法について ・成人歯科について等
座間市健康普及員健康教育	1	48	・歯周病と健康との関係
介護予防従事者研修会	1	172	・口腔機能向上について
在宅栄養士研修会	1	9	・乳幼児の歯科保健について
厚木歯科医師会勉強会	1	30	・歯周病と全身の健康との関係
清川村歯科保健勉強会	1	12	・乳幼児の歯科保健について
新任研修	1	1	・乳幼児の歯科保健について

キ 歯科保健推進委員会 (平成 15 年度～)

東日本大震災の影響により中止

ク フッ化物洗口普及啓発事業 (平成 18 年度～)

う蝕予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、フッ化物洗口の説明会を行いました。

フッ化物洗口説明会

清川村の幼児と保護者へ行いました。

開催施設数 (施設)	開催回数 (回)	参加者数 (人)
1	1	11

ケ 障害者通所施設の口腔ケア支援体制づくり事業【大同生命地域保健福祉研究助成】（平成22年度）

障害者の歯科疾患予防や口腔機能の維持向上と自立支援のために、歯科健康教育等を継続実施して、事業に関わるマニュアルを作成しました。

（ア）障害者への歯科健康教育と技術評価

管内の6か所の障害者通所施設で実施しました。

実施回数（回）	参加実人数（人）
8	105

（イ）口腔ケアサポートを行う際に使用するマニュアルの作成

施設スタッフが施設利用者の口腔の清潔を保ち、歯みがき受入れ度や口腔ケアのテクニックを上げるために、「口腔ケアを通じた自立支援マニュアル～知的障がい者への歯みがき支援～」を作成し、関係機関（通所施設6か所、各保健福祉事務所、歯科医師会等）に配付しました。

コ 歯間清掃用具普及対策事業（平成20年度～）（国庫補助事業）

歯の健康づくりのために重要なセルフケアである歯間清掃用具の活用の推進を図りました。

実施回数（回）	使用法指導人数
62	454

2 感染症・結核対策の充実

(1) 結核予防事業

平成19年3月31日で結核予防法が廃止され、結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の2類感染症になりました。

ア 結核健康診断

(ア) 管理検診状況（昭和47年度～）

再発防止のために、治療終了後1年以上病状についての診断を受けていない患者に検診を実施しました。

受診者数		受診結果		
保健福祉事務所	医療機関	要医療	経過観察	観察不要
3			3	

(イ) 家族検診状況（昭和47年度～）

患者が感染源となって接触者に感染させた疑いのある場合に家族及び接触のあった者に検診を実施し、感染者の発病予防、発病者や感染源の早期発見に努めました。

受診者数		受診結果		
保健福祉事務所	医療機関	要医療	発病の恐れのある者	異常なし
424		10	26	388

イ 患者指導

(ア) 保健指導

訪問指導	所内指導	文書指導
120	869	121

(イ) 定期病状調査

治療終了後の経過観察者の適切な患者管理に資するために、医療機関へ定期病状調査を実施しました。

調査件数	76
------	----

(ウ) 結核患者管理促進事業（保健所機能型DOTSモデル事業）（平成15年度～）

結核患者の治療成功をめざして、協力医療機関との連携により毎月の受診状況、菌検査成績を把握し治療中断者の早期把握、支援の充実を図りました。

受診状況把握結果

総数	実数	結果				
		治療終了	未受診	中断	転院	通院中
335	147	55	1	1	1	89

※中断者は前年度からの長期中断者

ウ 感染症診査協議会結核部会（平成19年度～）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第18条に基づく他に感染させる恐れのある者に対する就業制限、同法第19条に基づく入院勧告及び第37条に基づく公費負担の医療申請内容の適否について診査・協議するため、専門委員により毎月2回（原則第1・第3水曜日）開催しました。

法律の改正により、従前の結核予防法に基づく結核診査協議会（昭和26年度～）は、平成18年度をもって終了しました。

医療費公費負担診査件数

区 分	合 計	37条申請 入院医療	37条の2申請（一般医療）							
			小 計	被用者保険		国 保	後 期 高 齢	生 活 保 護	国保退 職本人	そ の 他
				本 人	家 族					
申 請 件 数	252	80	172	78	12	38	34	7	2	1
医 療 内 容 合 格	252	80	172	78	12	38	34	7	2	1
医 療 内 容 不 合 格										

エ 研修

結核医療従事者研修（平成8年度～）

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者(人)
	(平成22年度は実施せず。)			

オ 結核患者の状況

(ア) 登録患者数

a 年末現在登録患者数（活動性分類別・受療状況・市町村別）

（平成22年12月31日現在）

区 分	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	初感染結核（別掲）		非定型抗酸菌陽性（別掲）		
		肺 結 核 活 動 性							治 療 中	観 察 中	治 療 中	観 察 中	
		登 録 時 塗 抹 陽 性	登 録 時 咳 痰 陽 性	登 録 時 其 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 陰 性 菌 ・ 其 他	肺 外 結 核 活 動 性							
		初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽 性	・ 其 他	性							
平成20年	198	36	1	23	13	17	37	71	13				
平成21年	189	31	4	28	11	20	13	82	10	5			
平成22年	209	23	4	27	13	14	33	95	33	8			
受 療 別	入 院	2	1	1									
	在 宅 医 療	53	16	3	17	9	8		28				
	経 過 観 察	147	6		8	3	6	33	91	5	8		
	不 明	7			2	1			4				
市 町 村 別	厚 木 市	90	7	3	13	4	4	16	43	16	6		
	海 老 名 市	45	7	1	5	6	4	8	14	6	1		
	座 間 市	53	6		5	2	5	7	28	1	1		
	愛 川 町	17	2		4	1	1	1	8	9			
	清 川 村	4	1					1	2	1			

b 年末現在登録患者数（年齢階級別・活動性分類別）

（平成22年12月31日現在）

区 分	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	初感染結核（別掲）		非定型抗酸菌陽性（別掲）		
		肺 結 核 活 動 性							肺 外 結 核 活 動 性	治 療 中	観 察 中	治 療 中	観 察 中
		登 録 時 塗 抹 陽 性	登 録 時 咳 痰 陽 性	登 録 時 其 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 陰 性 菌 ・ 其 他	性							
		初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽 性	・ 其 他	性							
総 数	209	23	4	27	13	14	33	95	33	8			
0～4歳										1			
5～9	1							1		2			
10～14										3			
15～19	4	1		1				2					
20～29	16			4	2		5	5	6				
30～39	25	1		2	2	1	6	13	6				
40～49	17	3		2	1	1		10	15	2			
50～59	34	6		5	2		8	13	4				
60～69	45	4	2	5	2	4	4	24	2				
70歳～	67	8	2	8	4	8	10	27					

(イ) 新登録患者数

a 新登録患者数（年齢別階級別・活動性分類別・市町村別）

（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

区 分	総数	活 動 性 結 核					肺 外 核 活 動 性	潜在性結核 (別掲) 治療中	非定型抗酸菌陽性 (別掲) 治療中
		肺 結 核		活 動 性		菌 陰 性 ・ そ の 他			
		喀痰塗抹陽性 初 回 治 療	再治療	そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	そ の 他				
平成20年	84	35	1	18	16	14	17		
平成21年	78	21	3	26	10	18	15		
平成22年	72	21	4	24	11	12	36		
0～4歳									
5～9									
10～14									
15～19	2	1		1			6		
20～29	5			3	2		6		
30～39	6			3	2	1	16		
40～49	8	5		1	1	1	4		
50～59	9	2		5	2		4		
60～69	15	4	1	5	1	4			
70歳以上	27	9	3	6	3	6			
市町村別	厚木市	34	11	2	13	4	4	18	
	海老名市	21	6	2	4	5	4	7	
	座間市	12	3		5	1	3	1	
	愛川町	5	1		2	1	1	9	
	清川村								

b 肺結核活動性感染性登録患者数（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

医療区分	総数 (人)	被用者保険			国民健康保険		退職者	後期高齢者	生活保護	その他	不明
		本人	家族	一般	退 職 者						
					本人	家族					
総 数	72	21	5	22	1		19	3	1		
入 院	26	3	1	11	1		9	1			
在宅医療	46	18	4	11			10	2	1		
治療なし											
不 明											

(ウ) 結核登録率の推移（人口10万対・概数）

年	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
昭和 40	58,172	1,312.9	1,603	1,137.8
50	31,581	493.6	1,038	374.6
60	14,368	193.3	462	113.5
平成 7	9,798	118.8	290	59.6
17	5,289	60.2	196	38.4
18	5,244	59.3	208	39.9
19	4,941	55.5	175	33.4
20	4,602	51.4	198	37.6
21	4,602	51.1	190	36.0
22	4,237	46.8	209	39.7

(エ) 結核り患率の推移（人口10万対・概数）

年	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
昭和 40	12,617	284.8	-	-
50	4,700	73.5	134	48.3
60	2,869	38.6	78	19.2
平成 7	2,496	30.3	101	20.7
17	1,869	21.3	89	17.1
18	1,757	19.9	91	17.4
19	1,654	18.6	88	16.8
20	1,629	18.2	101	19.2
21	1,633	18.1	93	17.6
22	1,577	17.4	72	13.7

(オ) 結核有病率（人口10万対）

年	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
昭和 40	26,772	929.9	793	562.7
50	17,880	279.5	597	215.4
60	5,944	80.0	194	47.6
平成 7	3,559	43.2	112	23.0
17	1,788	20.3	91	17.5
18	1,618	18.3	89	17.1
19	1,459	16.4	83	15.9
20	1,386	15.5	84	16.0
21	1,468	16.3	78	14.8
22	1,350	14.9	82	15.6

(参考) 平成22年10月1日現在

県人口9,049,500人 管内人口526,962人

※平成9年以前は非定型抗菌陽性患者を含む

カ エックス線業務

エックス線撮影業務

事業区分		撮影区分		直接撮影		間接撮影		断層撮影		総 数		前年度実績	
		人	件	人	件	人	件	人	件	人	件		
総 数		246	246					246	246	276	276		
外 結 核 定 期 外 検 診	患者家族検診	220	220					220	220	268	268		
	管 理 検 診	3	3					3	3	8	8		
事 務 所 依 頼 分	患者家族検診	22	22					22	22	0	0		
	管 理 検 診	1	1					1	1	0	0		

(参考)

B C G接種状況 (市町村実施分)

市町村別	接 種 者 数
総 数	4,456
厚 木 市	1,922
海 老 名 市	1,120
座 間 市	1,116
愛 川 町	284
清 川 村	14

(2) 感染症予防事業

ア 感染症発生及びまん延予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正があり、平成20年1月1日から麻しんと風しんが定点把握から全数把握となりました。また、必要に応じて調査及び健康診断を行いました。

(ア) 発生状況

分類	病名	発生件数	患者数	接触者数	便検査	病原体保有者	海外渡航先
1類							
2類	結核（別記）						
3類	細菌性赤痢	5	5	21	15	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3	3	6	5		
4類	レジオネラ症	3	3				
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1				
	アメーバ赤痢	1	1				
	後天性免疫不全症候群	5	5				
	ジアルジア症	2	2				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1				
	麻しん	2	2				

(イ) 同行者・関係者検病調査実施件数

分類	病名	調査数	接触者	便検査	患者	病原体保有者
3類	細菌性赤痢	3	4	2		
	腸管出血性大腸菌感染症	1		1		

(ウ) 施設の調査・指導件数

施設種別	件数	備考	*数字は発生件数			
老人	5	ノロウイルス 4 水痘 1				
病院	3	ノロウイルス 2 レジオネラ 1				
施設	3	ノロウイルス 3				
学校	1	ノロウイルス 1				
保育園・幼稚園	4	ノロウイルス 1 感染性胃腸炎 1 マラリア 1 水痘 1				
その他	1	ノロウイルス 1				

(エ) 講演会

開催日	内容	対象者	参加者 (人)	講師	備考
7月20日	針刺し事故について	相武台病院職員	44	職員	

(オ) 感染症発生動向調査事業（昭和52年度～）

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、昭和52年10月から神奈川県サーベイランス事業が開始され、昭和57年4からは事業を強化した全国的な監視体制が確立されました。さらに昭和62年1月からは監視対象疾病を拡大し、その他の感染症に関する情報を全国規模で迅速に収集・解析し還元するコンピュータオンラインシステムが確立され、これらの疾病に対する有効な予防対策が図られました。

a 対象疾病 28疾病

b 協力医療機関

- (a)インフルエンザ定点 17か所（うち11か所は小児科定点が兼任）
- (b)小児科定点 11か所
- (c)眼科定点 3か所
- (d)STD定点 4か所
- (e)基幹定点 1か所

(カ) 集団かぜ（昭和48年度～）

集団かぜによる学校・学級閉鎖状況

今冬季節における集団かぜの発生は、昨年発生した新型インフルエンザの発生も落ち着き、大幅に減少しました。

区 分	平成22年度					平成21年度				
	施設数	閉鎖数			欠席者数	施設数	閉鎖数			欠席者数
		学級	学年	施設			学級	学年	施設	
総 数	214	276	30	1	3,331	790	967	140	15	10,960
幼稚園	10	8	4		128	58	67	10	6	739
小学校	188	254	25	1	3,068	544	721	68	4	7,145
中学校	14	12	1		113	139	145	39	4	2,394
その他の学校	2	2			22	49	34	23	1	682

(3) 性感染症予防（昭和23年度～）

ア 性感染症予防・啓発

性感染症（エイズを含む）の正しい知識の普及のために、中学生・高校生を対象に青少年エイズ性感染症予防のための講演会を開催しました。

性感染症予防思想普及講演会の開催状況（昭和40年度～）

実施日	実施校名	参加者 (学年)(人数)		講師
6月16日	厚木市立睦合東中学校	3	232	厚木保健福祉事務所職員
7月2日	海老名市立柏ヶ谷中学校	3	202	医師 岩室 紳也
7月7日	厚木市立森の里中学校	3	82	厚木保健福祉事務所職員
7月7日	海老名市立大谷中学校	3	201	厚木保健福祉事務所職員
7月7日	厚木市立依知中学校	3	112	プロジェクトコネクト 稲垣 朝子
7月9日	海老名市立今泉中学校	3	172	厚木保健福祉事務所職員
7月14日	厚木市立睦合中学校	2	159	医師 岩室 紳也
11月22日	厚木市立林中学校	3	129	医師 岩室 紳也
12月6日	清川村立宮ヶ瀬中学校	1～3	5	厚木保健福祉事務所職員
1月20日	厚木市立相川中学校	3	93	医師 岩室 紳也
1月20日	座間市立座間中学校	2	146	厚木保健福祉事務所職員
2月24日	海老名市立海老名中学校	3	153	厚木保健福祉事務所職員
2月24日	厚木市立厚木中学校	3	241	医師 岩室 紳也
2月25日	厚木市立南毛利中学校	3	216	プロジェクトコネクト 稲垣 朝子
2月28日	厚木市立小鮎中学校	3	148	医師 岩室 紳也
3月1日	厚木市立玉川中学校	3	160	厚木保健福祉事務所職員
3月2日	海老名市立有馬中学校	3	170	厚木保健福祉事務所職員
3月2日	厚木市立藤塚中学校	3	179	医師 岩室 紳也
3月3日	座間市立南中学校	3	142	厚木保健福祉事務所職員
3月4日	愛川町立愛川中学校	3	125	プロジェクトコネクト 稲垣 朝子
中学校 小計 (20校)		3,067人		
7月8日	神奈川県立厚木商業高校	3	250	厚木保健福祉事務所職員
9月14日	神奈川県立厚木清南高校	1～3	480	厚木保健福祉事務所職員
9月29日	神奈川県立厚木清南高校	1	232	厚木保健福祉事務所職員
高等学校 小計 (3校)		962人		
合 計 23校		4,029人		

(4) エイズ予防事業

ア エイズ予防・啓発（平成5年度～）

エイズの正しい知識の普及・啓発とエイズに対する偏見や差別のない社会の実現を目指して啓発用チラシやパンフレットの配布を行いました。

各種イベントへの参加による啓発

実施日	イベント名	内 容	配布数(部)
6月6日	あいかわ健康の日 2010	エイズ・性感染症予防パンフレット、保健福祉事務所検査のお知らせ、グッズの配布	100
10月23日 (事前配布として 9月28日、 10月7日、 10月19日)	東京工芸大学 「工芸祭」	教室利用によるプレゼンテーション パネル等の展示、検査案内・予防啓発リーフレット、 グッズの配布 事前に、大学祭でのイベント周知のチラシ配布	6,100

イ エイズ対策推進会議（平成5年度～）

地域におけるエイズ対策を推進するため、厚木保健福祉事務所エイズ対策推進会議（構成：19団体）を開催しました。

開催日	内 容	出席者(人)
12月13日	HIV感染者/AIDS患者への在宅療養支援について ・事例紹介 ・エイズ対策推進会議事前アンケート調査結果の報告 HIV感染者/AIDS患者の地域支援体制の構築について ・HIV感染者/AIDS患者の受け入れについて ・HIV感染者/AIDS患者の歯科診療について ・HIV感染者/AIDS患者の就労支援について	26

ウ エイズ検査・相談(昭和61年度～)

エイズの感染予防及び県民の不安や疑問に対応するため、昭和62年2月からエイズの抗体検査を行っています。また、昭和61年4月から保健所に相談窓口を設置し、相談に応じています。平成18年6月より、即日検査を実施しています。

(ア) エイズ相談・検査実施の推移

区分	年度										
	昭和62	平成3	8	15	16	17	18	19	20	21	22
相談	152	168	431	361	599	530	575	551	768	711	837
検査	113	56	248	153	196	155	262	349	425	289	273

(イ) 平成22年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

性別 \ 年齢	総計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	170	4	62	71	22	6	5
女	103	9	54	23	14	2	1
計	273	13	116	94	36	8	6

(5) 肝臓疾患対策事業（平成7年度～）

肝臓疾患に関する正しい知識の啓発普及を図るため、講演会・相談会を開催するとともに、ウイルス性肝炎の重症化防止等のためにB型及びC型の肝炎ウイルス検査を行いました。

ア 講演会・相談会

実施日	場 所	内 容	参加者(人)
10月21日	大和保健福祉事務所 講堂	「肝炎治療の知慧」 せんぼ東京高輪病院 院長 与芝 真彰	22

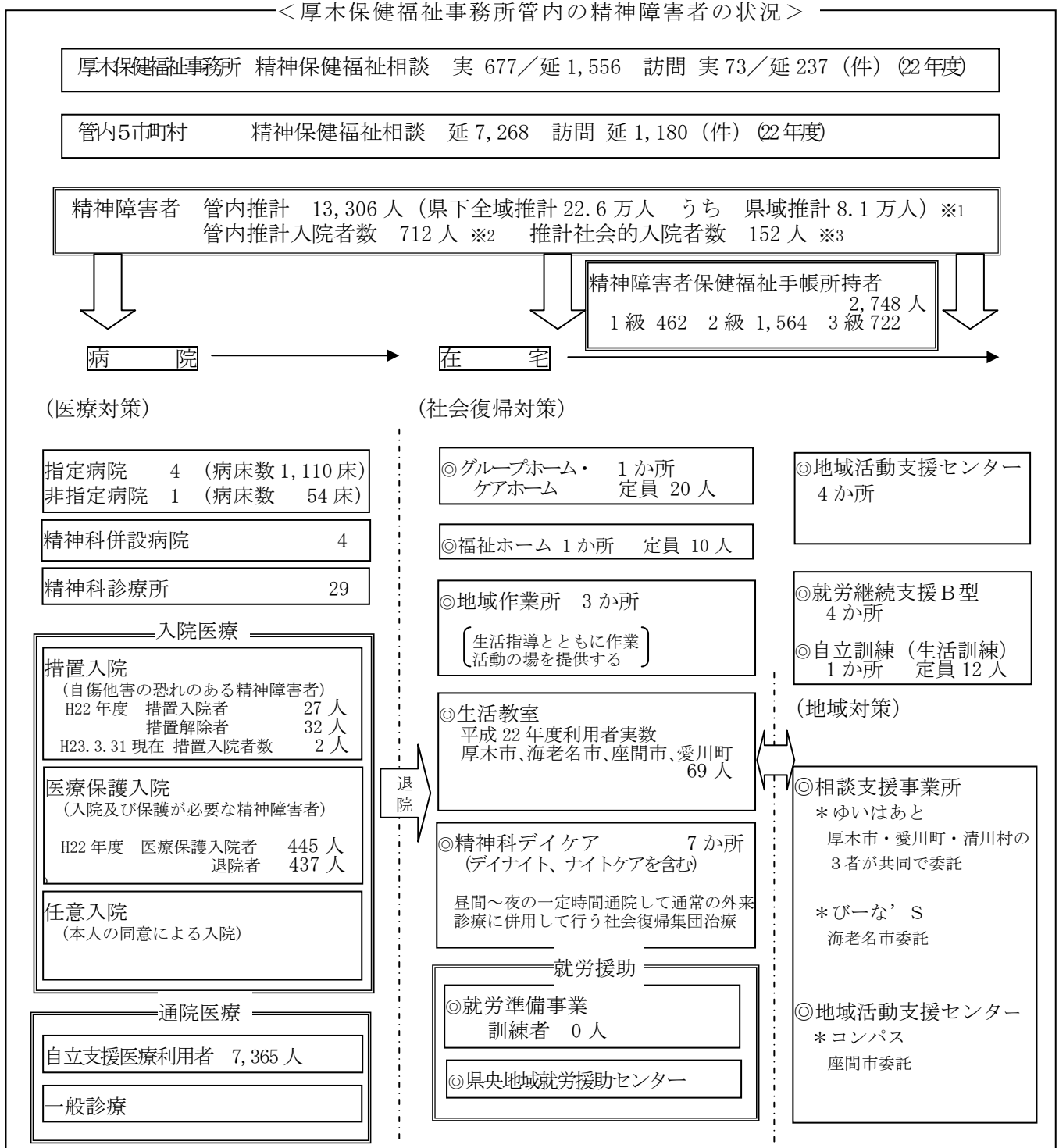
イ B型(抗原)・C型(抗体)肝炎ウイルス検査

	B型	C型
検査者	14	12
陽性者	1	1

3 メンタルヘルス対策の充実

(1) 精神保健福祉事業

ア 管内の精神障害者の状況



※1 精神障害者数は平成 20 年度の国の調査により公表された推計数 323.3 万人を当時の人口で按分したもの

※2 平成 20 年 3 月末現在の県内精神科病院の入院者数を当時の人口比率で按分したもの

※3 推定社会的入院者数は、入院者数の 2 割で算出したもの

※1～3 を除く数字は、平成 23 年 3 月末現在

イ 精神保健福祉相談・訪問（昭和 32 年度～）

(ア) 把握区分

区 分	人 数		保健所 把握新	年度新	再
	実人数	延人数			
相 談	677	1,556	531	146	879
訪問指導	73	237		73	164

(イ) 担当者

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他
相 談	1,665	96	773	683	113
訪問指導	389	16	118	143	112

(ウ) 診断

区分	実 人 数	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せ い 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	双 極 性 感 情 障 害	反 復 性 う つ 病 性 障 害	持 続 性 気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相談	677	23	40	7	109	14	60		48	3	17	8	5	1	5	5	1	150	181
訪問指導	73	1	5	1	32	1	1	1	3		1	1	2	1		2		8	13

(エ) 相談種別

区 分	実人数	治 療 の 問 題	生 活 上 の 問 題	社 会 参 加 の 問 題	心 の 健 康 問 題	その他
相 談	677	332	253	15	33	44
訪問指導	73	34	33	1	1	4

(オ) 相談者

区 分	総 数	本 人	家 族	医 療 機 関	市 町 村	その他
相 談	1,593	502	585	112	164	230
訪問指導	367	178	110	29	9	41

(カ) 援助方法

総 数	所内面接	電 話	文 書	訪 問
1,785	289	1,221	38	237

ウ 教育広報活動

(ア) 精神保健福祉の知識の普及啓発

a 講演会

実施日	対 象	場 所	内 容	参加者 (人)
4月16日	認知症サポーター ※1	海老名市役所	認知症について	36
6月18日	地域作業所通所者	精神障害者地域 作業所	健康教育 「メタボリックシンドロームとたばこについて」	11
8月27日	認知症サポーター	厚木市総合福祉 センター	認知症サポーター養成講座	29
11月8日	清川村職員	清川村保健福祉 センターやまびこ館	自殺対策の現状と課題	24
11月16日	清川村職員	清川村保健福祉 センターやまびこ館	自殺対策の現状と課題	24
12月11日	一般住民	清川村保健福祉 センターやまびこ館	みんなに聞いてほしい 命のメッセージ	30
12月21日	一般住民	座間サニープレイス	自殺防止のために家族ができること	5
1月25日	事業所の健康管理 担当者・人事担当 ※2	産業技術センター ホール	働く人のメンタルヘルス	149
2月21日	地域作業所通所者	精神障害者地域 作業所	健康教育 「インフルエンザの話」	10

※1：海老名市高齢介護課主催

※2：精神保健福祉センター、大和保健福祉事務所、労働基準監督署と共催で実施

b 市町村主催普及啓発活動への支援

実施日	主催市町村	内 容
6月23日 6月24日 6月25日	清川村	やまびこ健診 リーフレット配付
9月10日	清川村	自殺予防週間キャンペーン リーフレット配布
9月10日	厚木市	自殺予防週間キャンペーン リーフレット配布
9月14日 9月15日	海老名市	自殺予防週間キャンペーン 啓発品の配布
10月27日	座間市	精神保健普及週間 リーフレット配布
11月14日	厚木市	こころのふれあいフェスタ依知北 「ご存知ですか？ こころの病」 講演会他

11月28日	海老名市	海老名市 心のバリアフリー2010 ～かかわり・つながり・ささえあい～ 講演会他
12月11日 2月3日	清川村	心の健康講座 講演会
3月23日	愛川町	J A 県央愛川有線放送出演 「自殺対策について」

(イ) 精神保健福祉協力者（ボランティア）の育成（平成7年度～）

実施日	対 象	内 容	援助回数	延参加者(人)
10月2日	海老名市住民・ボランティア	海老名市精神保健ボランティア講座 「精神保健ボランティアの役割」	1	18

※社会福祉協議会等が主催したものに協力

エ 組織育成活動（昭和52年度～）

精神保健福祉関係団体

区 分	援 助 内 容	援助回数
精神障害者家族会	会の運営助言・総会	8
断 酒 会	会の運営助言及び援助・例会・一般酒害研修会	1
地域作業所（5ヶ所）	運営委員会等への参加・市町村窓口との連携 ・対応方法の検討	9
その他の団体	相談支援事業所等への運営助言及び援助	10

オ 社会復帰の援助

(ア) 本人・家族への教室（昭和47年度～）

区 分	内 容	開催参加回数	参加延人数
生活教室（厚木市）	スポーツ・バスハイク・ミーティング他（月1回）	11	95
生活教室（海老名市）	スポーツ・陶芸・所外活動 他（月1回）	12	73
生活教室（愛川町）	陶芸・ミーティング・ハイキング 他（月1回）	11	106
家族教室（当所）	統合失調症と再発予防、統合失調症の薬の話 他	4	92
家族教室（海老名市）	統合失調症について、家族のこころの健康について 他	4	58
家族のつどい（愛川町）	ビデオ鑑賞、社会資源について（施設見学） 他	5	32

※厚木市、海老名市、愛川町の生活教室、海老名市家族教室、愛川町家族のつどいは市町と共催で実施

(イ) その他の事業 (平成17年度～)

区 分	内 容	開 催 回 数	参加者 (人)	
			実数	延数
うつ病休職者家族セミナー	テーマ:うつ病とは、復職支援の実際 講師による講話、話し合い 他	4	25	85

※精神保健福祉センターと共催で実施

カ 医療保護関係事務

(ア) 精神保健診察 (法27条)

精神保健福祉法に基づく申請、通報に対し精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件数	調 査	指 定 医 診 察 結 果					受 療 指 導 等
			要措置	不 要 措 置				
				医保入院	任意入院	入院外 診 療	医療不要	
23条	0							
24条	22	22	12	1		4	1	4
(24条時間外)	39		17	5	1	5		11

(イ) 精神科病院実地指導・実地審査 (法38条の6) (平成9年度～)

a 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

総施設数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
5	3		1		1

b 精神保健福祉法に基づく実地審査

(措置入院者及び医療保護入院者等の精神保健指定医による診察)

施設数	実人数	審 査 結 果							
		措置入院		医療保護入院			任 意 入 院		
		継続	措置 不要	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要
5	30	4		22	1		2	1	

c 措置入院者新規審査

施設数	実人数	審 査 結 果	
		措 置 継 続	措 置 不 要
0	0		

(ウ) 医療機関から法定の届出等受理件数

区 分	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計(件)
医療保護入院者入院届(法第33条第1項)	217	120	85	50	7	479
医療保護入院者入院届(法第33条第2項)	45	38	33	11	2	129
医療保護入院者退院届(法第33条の2)	209	122	95	42	5	473
定期病状報告書(医療保護入院者)	125	50	70	30	1	276
定期病状報告書(措置入院者)	1	1	1			3

キ 地域精神保健福祉連絡協議会等

(ア) 地域精神保健福祉連絡協議会(平成8年度～)

開催日	対象委員	内 容	参加者(人)
	医療機関、市町村 社会復帰施設 社会復帰関係団体 学識経験者 精神保健福祉センター	東日本大震災のため中止	

(イ) 地域精神保健福祉連絡協議会実務担当者会議(平成9年度～)

実施日	出席者	内 容	参加者(人)
1月21日	市町村、医療機関 相談支援事業所、 訪問看護ステーション、 自立支援法関連事業所 等	地域支援者スキルアップ研修 ・事例検討・グループワーク ・助言者 田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 伊藤 秀幸	16

(ウ) 市町村への協力及び連携

a 市町村精神保健福祉業務連絡会議(平成12年度～)

開催日	出席者	内 容	会 場	参加者(人)
5月24日	市町村精神保健 福祉担当課長(5 月のみ)・担当 者・精神保健福祉 センター職員	・21年度事業実績	厚木合同 庁舎・ 会議室	17
8月30日		・22年度事業計画について ・自殺統計の読取り		17
1月31日		・精神障害者訪問支援事業について ・23年度計画について他		12

b 市町村との連携及び協力(打合せ・連絡会・事業への協力等)

回 数	79
-----	----

c 市町村職員等への研修

研修名	回数	参加者(人)	備考
地域支援研修	1	19	精神保健福祉センターと共催
実務者のための研修会	1	16	事例検討会
地域支援体制推進研修会	3	90	対象：地域関係者等

(エ) 厚木保健福祉事務所管内精神保健福祉地域交流会（平成10年度～）

実施日	対象	内容	参加者(人)
12月10日	管内の地域作業所・デイケア、生活教室に参加している精神障害者	文化祭	308

※関係機関から実行委員を募り、実行委員会を8回開催し実施

(オ) 県央地区精神科医療機関連絡会（平成16年度～）

実施日	対象	内容	出席者数
9月27日	厚木・大和保健福祉事務所管内の精神科6病院、管内7市町村	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の現状と課題 地域移行の取り組みについて 	25

※大和保健福祉事務所と共催で開催

(カ) ひきこもり関係機関連絡会（平成18年度～）

実施日	対象	内容	出席者数
11月12日	厚木・大和保健福祉事務所管内の市町村、青少年相談室、診療所、県青少年センター、精神保健福祉センター	研修会「ひきこもりへの対応を考える～その多様性と背景にある問題～」 各機関の相談状況について 意見交換・情報交換	20

(キ) 厚木保健福祉事務所管内警察署連絡会議（平成18年度～）

実施日	対象	内容	出席者数
10月5日	厚木・海老名・座間警察署、精神保健福祉センター救急情報課・県障害福祉課	精神保健福祉法第24条について <ul style="list-style-type: none"> 管内の状況 各機関意見交換 	12

(ク) 宮ヶ瀬地域自殺対策検討会（平成21年度～）

実施日	対象	内容	出席者数
2月25日	管内市町村、相模原市、厚木警察署、相模原警察署、ダム管理事務所、精神保健福祉センター、かながわ自殺予防情報センター	<ul style="list-style-type: none"> 宮ヶ瀬地域の自殺状況について 宮ヶ瀬地域自殺対策ネットワーク立ち上げについて 情報交換、意見交換 	31

4 老人性認知症疾患対策の充実

(1) 老人性認知症疾患対策保健所事業（昭和 58 年度～）

高齢化が進む中で認知症高齢者が増加しています。老人性認知症疾患に関する相談を中心に活動を実施しました。

ア 老人性認知症疾患相談事業

(ア) 相談内容

区 分	相談件数実数	相談件数延数	相 談 内 容 (延数)							計延件数
			疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	福祉サービス	その他	
総 数	73	120	21	74	53	24	5	7	9	193
精神科医の定例相談	14	17	1	14	10	9	2		2	38
保健師・福祉職の随時相談	59	103	20	60	43	15	3	7	7	155

(イ) 相談の対象と方法

区分	相談件数(計)	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	その他
総 数	120	73	47	90	20	7	3
定 例 相 談	17	14	3		10	7	
随 時 相 談	103	59	44	90	10		3

イ 老人性認知症疾患訪問指導

訪 問 数	6 (6)
-------	-------

() 内は実数

ウ 高齢者虐待（再掲）

(ア) 相談件数・内容

区 分	相談件数	相 談 内 容 (延数)						
		身体虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	放棄 介護・世話の その他	計延件数	
総 数	8	4	2		1	3	10	
定 例 相 談	1					1	1	
随 時 相 談	7	4	2		1	2	9	

(イ) 訪問指導

件 数	3
-----	---

エ 組織育成活動

家族会

区 分	家 族 会 名	支援回数	内 容	参加者(人)
厚 木 市	すみれ会	2	総会・話し合い	29
海 老 名 市	四ツ葉のクローバー	1	総会・話し合い	35
座 間 市	手をつなぐ介護者の会	1	総会・話し合い	30
四つの家族会交流会		1	四会の現状報告、グループ検討	45

オ はいかいSOSネットワーク連絡会

実 施 日	内 容	参加者(人)
10月5日	はいかいSOSネットワークについての情報交換	18

5 難治性の疾患対策の充実

(1) 難病患者地域ネットワーク支援事業（平成10年度～）

厚生省の難病特別対策推進事業要綱に基づき、難病患者等の療養上の不安解消を図るとともに、関係機関との連携により適切な在宅療養支援を行い、患者家族の生活の質の向上を目的として実施しました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症患者の個別支援の充実及び在宅療養における保健・医療・福祉の連携を深め、総合的な支援体制の構築を図るため実施しました。

(ア) 在宅療養支援計画策定・評価委員会（難病委員会・難病実務担当者会議）

実施日	出席者	内 容	出席委員(人)
6月18日	居宅介護支援事業所 訪問看護実施機関 各市町村障害福祉担当課	<難病実務担当者会議> 1 難病患者の災害時における要援護者支援体制について 2 特定疾患更新について	13
10月20日		<難病実務担当者会議> 1 企業における災害時要援護者支援体制について 2 各市町村等における災害時要援護者支援体制について情報交換	13
1月13日	医師会 専門病院 地域病院 訪問看護実施機関 居宅介護支援事業所 各市町村障害福祉担当課	<難病委員会> 1 厚木保健福祉事務所における難病患者の支援対策について 2 「在宅重症療養患者にかかる緊急・災害時の支援体制の構築に関する研究」から	25

(イ) 難病従事者研修会

実施日	内 容	講 師	参加者(人)
11月17日	1 「難病患者の制度について」 2 「地域における難病患者ケアの実際」 3 「NTTの災害対策」	厚木保健福祉事務所職員 訪問看護ステーションホト北部 管理者 森住 八千代 東日本電信電話（株）神奈川支店設備部災害対策室課長 福原 勉	56

イ 医療相談事業（昭和 55 年度～）

患者及び家族の療養上の不安を軽減するために講演会・相談会を実施しました。

実施日	内 容	講師及び相談医	参加者 (人)
10月2日	1 「多発性筋炎・皮膚筋炎について－ 現在の治療とこれから、日常生活 の注意点－」 2 ペンタスの会から活動紹介	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 膠原病・リウマチ内科学 准教授 上阪 等	54
2月18日	神経難病患者の口腔ケア摂食嚥下機能 に関する講演会・相談会	日本大学歯学部摂食機能 療法学講座 准教授 戸原 玄	39

ウ 訪問相談事業（平成 10 年度～）

医療相談等の事業に参加できない要支援難病患者について患者家族の精神的負担の軽減、QOLの向上を図るため訪問相談員を派遣し、個別の相談・指導・助言を行いました。

相談員	相談回数	相談者（延べ人数）
保 健 師	40（そのうち更新時 10 回）	115

(2) 難病患者等居宅生活支援事業（平成 9 年度～）

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、難病患者等ホームヘルパー養成研修を大和・秦野・足柄上保健福祉事務所と共催で開催しました。

実施日	内 容	講 師	修了者数 (人)
6月29日	難病の保健・医療・福祉制度	保健予防課職員	計 40 当所管 内受講 者 12
	難病患者・家族の理解	日本ALS協会神奈川県支部 長岡 明美	
	難病の基礎知識 在宅で診る神経難病	鶴巻温泉病院 第 4 診療 部長 小野寺 直樹	

(3) 特定疾患医療援護

ア 特定疾患医療費給付

神奈川県特定疾患医療給付実施要綱に基づき、入院通院をして治療を受けた者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

特定疾患医療費給付申請件数 新規399件

特定疾患医療受給者数

(単位：人)

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
総数		2,732	1,176	1,556	492	640	254	375	322	391	99	139	9	11	
血液系	6 再生不良性貧血	33	18	15	8	5	3	3	7	6		1			
	10 特発性血小板減少性紫斑病	86	24	62	10	28	4	18	7	10	3	6			
	35 原発性免疫不全症候群	5	3	2	1	1				1	2				
	小計	124	45	79	19	34	7	21	14	17	5	7			
免疫系	1 ベーチェット病	56	24	32	9	18	4	9	8	1	3	4			
	4 全身性エリテマトーデス	289	23	266	10	114	6	73	4	55	3	24			
	9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	144	33	111	12	34	9	34	7	31	4	11	1	1	
	11 結節性動脈周囲炎	23	11	12	4	2	3	1	1	7	3	2			
	13 大動脈炎症候群	13	1	12	1	5		2		3		1		1	
	14 ビュルガー病(バージャー病)	18	18		5		8		3		2				
	19 悪性関節リウマチ	37	15	22	4	8	1	5	8	8	2	1			
	25 ウェゲナー肉芽腫症	11	5	6	4	2		2	1			2			
小計	591	130	461	49	183	31	126	32	105	17	45	1	2		
内分泌系	56 間脳下垂体機能障害 1 PRL分泌異常症 2 ゴナドトロピン分泌異常症 3 ADH分泌異常症 4 下垂体性TSH分泌異常症 5 クッシング病 6 先端巨大症 7 下垂体機能低下症	44	19	25	9	8	4	7	5	10	1				
	小計	44	19	25	9	8	4	7	5	10	1				
	21 アミロイドーシス	4	2	2		2	1		1						
	46 家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)														
	小計	4	2	2		2	1		1						
	神経・筋	2 多発性硬化症	42	12	30	5	15	2	8	4	5	1	1		1
		3 重症筋無力症	64	24	40	12	18	4	10	8	7		5		
		8 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	27	20	7	4	3	5	4	8		2		1	
16 脊髄小脳変性症		73	38	35	16	15	10	10	8	6	4	4			
20 パーキンソン病関連疾患		326	141	185	53	69	32	32	46	63	9	18	1	3	
23 ハンチントン病		1	1						1						
24 モヤモヤ病		59	16	43	8	20	3	9	3	10	2	3		1	
27 多系統萎縮症		44	21	23	9	11		3	11	7	1	2			
38 プリオソン病		2	1	1					1	1					
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)		1		1		1									
45 副腎白質ジストロフィー		1		1		1									
47 脊髄性筋萎縮症															
48 球脊髄性筋萎縮症		1	1		1										
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	1	4		1		3	1							
小計	646	276	370	108	154	56	79	91	99	19	33	2	5		
37 網膜色素変性症	146	61	85	28	40	10	21	15	14	7	9	1	1		
小計	146	61	85	28	40	10	21	15	14	7	9	1	1		

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
循環器系	26	特発性肥大型(うつ血型)心筋症	77	61	16	24	6	12	5	18	4	6		1	1
	44	ライソゾーム病	3	3		1						2			
	50	肥大型心筋症													
	51	拘束型心筋症													
	52	ミトコンドリア病	4	4		2		1		1					
	小計	84	68	16	27	6	13	5	19	4	8		1	1	
呼吸器系	7	サルコイドーシス	52	23	29	8	8	6	11	7	10	2			
	36	特発性間質性肺炎	22	9	13		3	2	3	5	6	2	1		
	39	肺動脈性肺高血圧症	9	4	5	2	3		1	1	1	1			
	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	1	5		3	1	2						
	53	リンパ脈管筋腫症	4		4		3		1						
	小計	93	37	56	10	20	9	18	13	17	5	1			
消化器系	12	潰瘍性大腸炎	556	307	249	146	101	74	47	69	70	16	30	2	1
	17	クローン病	137	103	34	50	15	19	9	27	7	6	3	1	
	18	劇症肝炎													
	31	原発性胆汁性肝硬変	72	11	61	7	20	4	20		17		3		1
	32	重症急性膵炎	3	3					1		1		1		
	42	バッド・キアリ症候群													
	小計	768	424	344	203	136	98	76	97	94	23	36	3	2	
皮膚・結合組織	15	天疱瘡	18	9	9	4	6	3	2	1	1	1			
	28	表皮水疱症	1		1						1				
	29	膿疱性乾癬	4	3	1	1	1	1		1					
	34	混合性結合組織病	44	3	41		20	2	5	1	13		3		
	40	神経線維腫症(Ⅰ型、Ⅱ型)	10	4	6	1	3	1		2	3				
	重症多形発赤性紅斑(急性期)														
	小計	77	19	58	6	30	7	7	5	18	1	3			
骨・関節	22	後縦靭帯骨化症	86	55	31	20	16	9	5	19	8	6	2	1	
	30	広範脊柱管狭窄症	3		3		1		1		1				
	33	特発性大腿骨頭壊死症	64	39	25	12	9	9	9	11	4	7	3		
	55	黄色靭帯骨化症	1		1		1								
	小計	154	94	60	32	27	18	15	30	13	13	5	1		
	5	スモン	1	1		1									
	小計	1	1		1										

(4) 先天性血液凝固因子障害医療給付（平成元年度～）

平成2年1月1日施行の神奈川県先天性血液凝固因子障害医療給付実施要綱に基づき、入院及び通院をして治療を受けた者に対して医療給付の申請について県への経由事務を行いました。

先天性血液凝固因子障害医療給付申請件数 2件（内、新規1件 更新1件）

6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業

被爆者健康手帳、健康診断受診者証並びに各種手当の申請等について県への經由事務を行いました。原爆被爆者等の定期健康診断を年2回（5月と11月）実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	既交付	新規交付	合計	平成23年3月31日 現在の交付数
総 数	481	13	494	476
被 爆 者 健 康 手 帳	216	1	217	208
第 1 種 健 康 診 断 受 診 者 証	4		4	3
第 2 種 健 康 診 断 受 診 者 証	4		4	4
被爆者のこども健康診断受診証	257	12	269	261

(2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	総 数	被爆者	被爆者の こども	要精検者	要治療者
平成 20 年度総数	10	10		4	
平成 21 年度総数	12	10	2	5	
平成 22 年 度	総 数	12	10	2	5
	第 1 回	8	6	2	4
	第 2 回	4	4		1

7 石綿による健康被害の救済支援事業

(1) 相談対応状況（平成17年7月～）

石綿（アスベスト）による健康被害に関して、県民の不安解消のための相談対応を実施しました。

相談件数	主な相談
5	健康相談、アスベスト救済法相談等 累計38件

(2) 申請状況

「石綿による健康被害の救済に関する法律」（平成18年法律第4号）に基づき、石綿（アスベスト）による健康被害を受けられた方及びそのご遺族で、労災補償等の対象とならない方に対して、救済給付の支給を行うための認定申請の受付、送付（独立行政法人 環境再生保全機構）を行いました。

申請件数	申請内容
2	認定申請2

8 地域保健師業務連絡会議等実施状況

(1) 地域保健師業務連絡会議総会

開催日	内 容	参加者(人)
5月28日	議題 (1)平成21年度地域保健師業務連絡会議実績報告及び平成22年度事業計画について (2)保健福祉事務所・市町村の新規事業及び重点事業等について (3)報告事項(学会発表の紹介) (4)職場のOJT、保健師の人材育成について (5)神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例について	33

(2) 管内保健師研究会

開催日	内 容	参加者(人)
11月15日	テーマ「保健師のためのメンタルヘルス・マネジメント ～保健師自身が燃え尽きないために(PartⅡ)～」 講師 横浜相原病院 院長 吉田 勝明	30
2月26日	テーマ「保健師活動～私が大切にしてきたこと～」 講師 大和保健福祉事務所保健予防課 課長 菊間 博子 テーマ「十年後の自分をイメージしてみましょう」 アプリシエイティブ・インクワイアリー (AI) 講師 鈴木 祐司、向井 清二、藤原 加代	13

(3) 管内新任期保健師研修

開催日	内 容	参加者(人)
10月21日	情報交換「今、わたしたちに求められていること」 交流「こういう保健師になりたい！」 講義「学校と現場のギャップ～地区把握、家庭訪問、健康教育…、戸惑いはありませんか？」 講師 県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 准教授 渡部 月子	9
3月1日	講義「保健師活動～私が大切にしてきたこと～」 講師 厚木保健福祉事務所保健福祉課 副技幹 小島 博子 情報交換・交流、振り返り アプリシエイティブ・インクワイアリー (AI) を用いて… ファシリテーター 鈴木 祐司、向井 清二、藤原 加代、吉見 逸郎 他	10

(4) 代表幹事会

開催日	内 容	参加者(人)
3月18日	(1)平成22年度地域保健師業務連絡会議について (2)平成23年度地域保健師業務連絡会議の計画について	東日本大震災の影響により、中止

9 保健師業務

(1) 家庭訪問

総 数	種 別																				
	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生活 習慣病		難 病	小児特定				そ の 他 疾 病	未熟児		妊 産 婦	そ の 他	
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上			
実数 (人)	663	32	59	35	5	25	1				1	40	1	12	2		5	286	150		9
延数 (人)	1197	39	127	133	6	49	4				1	114	1	29	4		6	356	316		12

訪問内容別再掲															
精神障害			特定疾患					介護 保険		児 童 虐 待	小児アレルギー疾患				高 齢 者 虐 待
社 会 復 帰	老 人 性 認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 經 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	皮 膚 炎	ア ト ピー 性	ギ ー の 疑 い	
	1		2			38				12					
	1		3			111				38					

(2) 所内指導

項 目	計	感 染 症	結 核	精 神 障 害	老 人 性 認 知 症	心 身 障 害	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定	そ の 他 の 疾 病	妊 産 婦	産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 児	思 春 期	エ イ ズ	女 性 の 健 康	そ の 他
面 接 (人)	780	67	50	138	3	1	23	1	182	12	3	1	5	48	1		1	243		1
電 話 (人)	3,093	171	411	443	21		162	1	796	39	7		30	812	9		9	142	13	27
文 書 メ ー ル (人)	373	1	8	3			64		152	2				119				24		
合 計 (人)	4,246	239	469	584	24	1	249	2	1,130	53	10	1	35	979	10		10	409	13	28

(3) 家庭訪問以外の保健活動

項目	健康相談	集団検診	健康教育	デイケア	地区組織活動	合計
開設回数 (回)	13		91	23	37	164
指導延人員 (人)	126		8,894	168	751	9,939

10 保健福祉サービス連携調整会議

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会・協議会を開催しました。

平成 22 年度厚木保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議
(委員会・協議会の総称)

- (1) 健康増進・高齢者保健福祉委員会 ————— 実務担当者会議等
- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 医師会代表 歯科医師会代表 学識経験者 介護保険関係者
社会福祉協議会 地域関係団体 行政機関職員
-
- (2) 母子保健委員会 ————— 実務担当者会議等
- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 医師会代表 訪問看護ステーション
医療機関関係者 療育機関関係者 行政機関職員
-
- (3) 地域食生活対策推進協議会 ————— 検討会
- 保健福祉課 1回 保健福祉課 1回
- 医師会代表 学識経験者 労働基準監督署 管理栄養士
地域関係団体 行政機関職員、企業・大学
-
- (4) 地域精神保健福祉連絡協議会 ————— 実務担当者会議
- 保健予防課 1回 東日本大震災のため中止 保健予防課 1回
- 病院・診療所医師 家族会 自立支援事業所 学識経験者
相談支援事業所 社会福祉協議会 行政機関職員
-
- (5) 歯科保健推進委員会
- 保健福祉課 1回 東日本大震災のため中止
- 歯科医師会代表 歯科衛生士会代表 居宅介護支援センター
学識経験者 行政機関職員
-
- (6) 難病委員会 ————— 実務担当者会議
- 保健予防課 1回 保健予防課 2回
- 医師会代表 医療機関関係者 訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所 行政機関職員

第3章

健康で快適な生活環境の確保

1 食品保健対策の充実	59
2 環境保健対策の充実	65
3 医薬品等安全対策の充実	70

1 食品保健対策の充実

食生活の多様化、流通の国際化が進む中、多種多様な食品が出回り、食品の安全性への関心がますます高まっています。食中毒等、食品による危害の発生を防止し、地域において安心できる食生活を確保するため、次の事業を実施しました。

(1) 食品関係営業施設の監視指導

管内の営業施設数は約13,350。県央中核都市域に位置し、東名高速道路等全国へつながる交通の要衝としての立地条件から大規模製造業も多く、広域に流通する食品の安全確保についても力を入れてきました。また、給食施設に対しても集団食中毒防止のため徹底した指導を実施しました。

ア 許可営業施設(政令)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規			更新
飲食店営業		4,242	2,115	894	745	380	49	59	410	496	483	2,405
菓子(パンを含む)製造業		300	142	69	54	23	4	8	32	29	9	253
乳処理業		3	1	2								1
乳製品製造業		7	3	4						1		4
魚介類販売業		468	241	97	75	51	4		50	81	58	522
食品の冷凍又は冷蔵業		29	16	5	2	6			1	3	1	35
缶詰又は瓶詰食品製造業		2				2						3
喫茶店営業		1,370	750	269	176	167	7	1	86	148	119	307
あん類製造業		1	1							1		2
アイスクリーム製造業		5	2	1	1	1				2		18
乳類販売業		1,108	564	248	174	112	9	1	71	164	151	683
食肉処理業		37	22	6	5	4			6	2	3	66
食肉販売業		517	259	98	86	55	12	7	58	91	64	549
食肉製品製造業		7	5	1		1			1	1		13
食用油脂製造業		2	1			1						2
マーガリン・ショートニング製造業		1		1								
みそ製造業		12	5	4	2		1			2	2	17
ソース類製造業		3	2			1						2
酒類製造業		7	5	1		1				2		6
豆腐製造業		17	4	4	7	2				4		20
納豆製造業		1		1								1
めん類製造業		14	6	1	5	2				3		14
そうざい製造業		45	24	11	7	2	1		10	4	1	56
添加物製造業		3				3					1	4
清涼飲料水製造業		8	6	1		1						6
氷雪販売業		2	1		1					1		3
合計		8,211	4,175	1,718	1,340	815	87	76	725	1,035	892	4,992

イ 許可営業施設(条例)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃案件数	監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規			更新
魚介類行商		2	1					1		2		2
魚介類加工業		8	6	2						1		9
発酵乳等販売業		78	48	12	7	9	2		1	11	7	20
合計		88	55	14	7	9	2	1	1	14	7	31

ウ 届出営業施設

業種	区分	地区別施設数						監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		移動営業
給食施設	学校	42	17	3	12	9	1		80
	病院・診療所	10	8	1			1		12
	事業所	13	5	2	4	1	1		23
	その他	105	44	20	31	8	2		85
	小計	170	74	26	47	18	5		200
乳搾取業		51	17	17	6	11			
食品製造業		199	108	39	19	30	2	1	120
野菜果物販売業		638	286	143	127	69	7	6	465
総菜販売業		553	280	115	92	57	9		489
菓子販売業		1,242	579	264	249	126	18	6	586
食品販売業		1,649	756	367	326	147	29	24	908
食品添加物製造業		3	2			1			4
添加物販売業		92	51	17	15	9			77
器具・容器包装・おもちゃの製造業又は販売業		453	237	81	86	42	7		432
合計		5,050	2,390	1,069	967	510	77	37	3,281

エ 食品等輸入事務所等の届出

市町村名	地区別施設数						新規件数	廃止件数
	総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		
施設数	9	6	2	1			9	

(2) 営業施設数の推移

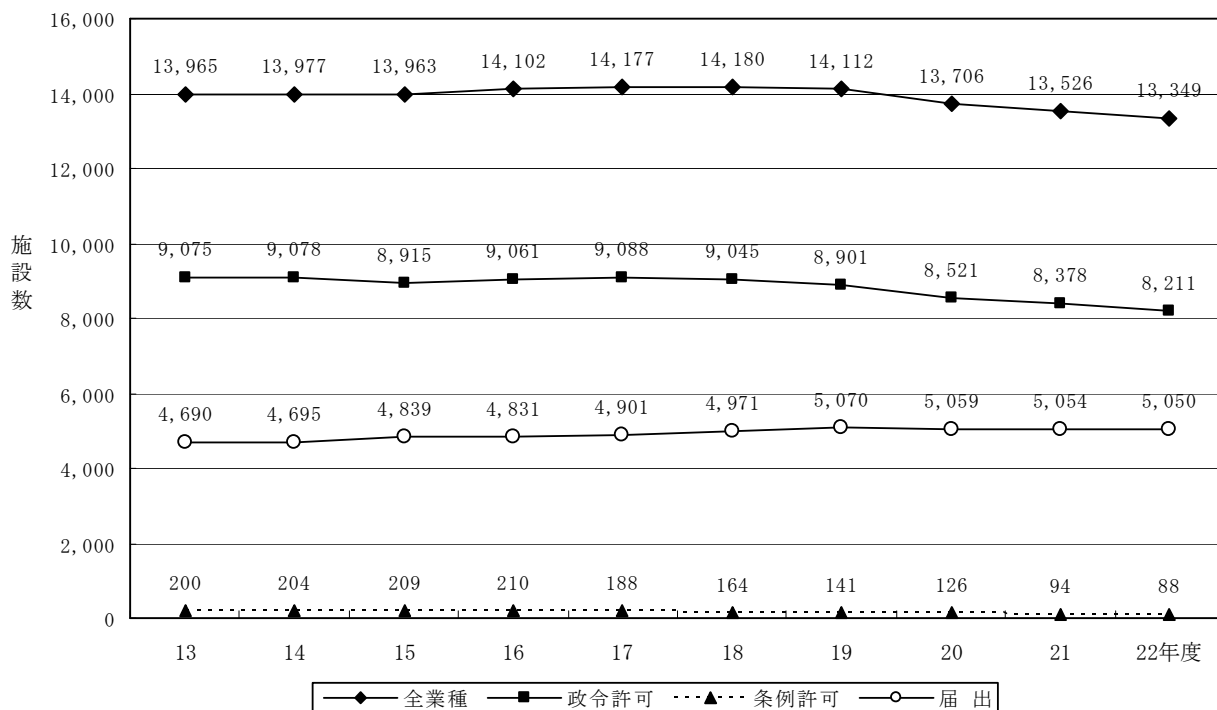
ア 市町村別営業施設数の推移

年度 市町村	年度									
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
厚木市	6,964	6,877	6,884	6,952	7,001	7,009	6,890	6,781	6,696	6,620
海老名市	2,866	2,977	2,962	2,963	2,990	2,987	2,975	2,841	2,794	2,801
座間市	2,500	2,515	2,501	2,486	2,482	2,472	2,474	2,379	2,371	2,314
愛川町	1,385	1,348	1,341	1,411	1,408	1,406	1,471	1,404	1,379	1,334
清川村	183	183	191	188	185	188	187	182	185	166
移動営業	67	77	84	102	111	118	115	119	101	114
合計	13,965	13,977	13,963	14,102	14,177	14,180	14,112	13,706	13,526	13,349

イ 許可・届出別営業施設数の推移

年度 市町村名	年度										
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
政令許可	厚木市	4,645	4,586	4,491	4,567	4,588	4,561	4,433	4,303	4,247	4,175
	海老名市	1,827	1,913	1,878	1,877	1,883	1,876	1,843	1,753	1,720	1,718
	座間市	1,566	1,560	1,527	1,533	1,524	1,523	1,508	1,410	1,386	1,340
	愛川町	920	898	891	932	935	921	956	892	864	815
	清川村	88	88	89	91	89	88	88	88	93	87
	移動営業	29	33	39	61	69	76	73	75	68	76
	合計	9,075	9,078	8,915	9,061	9,088	9,045	8,901	8,521	8,378	8,211
条例許可	厚木市	118	112	122	124	111	97	79	74	59	55
	海老名市	30	33	33	36	31	27	27	23	14	14
	座間市	26	30	25	26	25	20	16	12	8	7
	愛川町	24	21	20	20	17	16	15	13	10	9
	清川村	1	2	3	3	3	3	3	3	2	2
	移動営業	1	6	6	1	1	1	1	1	1	1
	合計	200	204	209	210	188	164	141	126	94	88
届出営業	厚木市	2,201	2,179	2,271	2,261	2,302	2,351	2,378	2,404	2,390	2,390
	海老名市	1,009	1,031	1,051	1,050	1,076	1,084	1,105	1,065	1,060	1,069
	座間市	908	925	949	927	933	929	950	957	977	967
	愛川町	441	429	430	459	456	469	500	499	505	510
	清川村	94	93	99	94	93	97	96	91	90	77
	移動営業	37	38	39	40	41	41	41	43	32	37
	合計	4,690	4,695	4,839	4,831	4,901	4,971	5,070	5,059	5,054	5,050

(営業施設数の年度別推移)



(3) 食品・器具等の収去検査

管内で製造又は流通する食品を収去し、細菌検査、理化学検査を実施しました。

種別	区分	収去件数	不適件数		
			総数	細菌試験	理化学試験
乳肉食品	魚介類	3			
	冷凍食品	5			
	アイスクリーム類	28	1	1	
	小計	36	1	1	
一般食品	穀類及びその加工品	6			
	野菜類・果実及びその加工品	6			
	菓子類	10			
	清涼飲料水	2			
	その他の食品	60			
	小計	84			
合計		120	1	1	

(4) 違反食品等の発見等

食品の分類	件数	違反内容	措置	備考
アイスクリーム類	1	規格基準違反	始末書徴収	
野菜類・果物及びその加工品	1	表示違反	始末書徴収	他自治体からの通報
その他の食品	1	表示違反	始末書徴収及び他自治体通報	

(5) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況

食品取扱い施設における食中毒の発生防止を図るため、営業者への衛生教育及びリーフレットの配布を行いました。また、食品衛生指導員による自主管理の推進をサポートし、営業施設の衛生管理の向上を図りました。

家庭における食中毒の注意を喚起するため、広報誌やポスターの掲示による広報活動を行いました。また、食中毒予防週間に管内の各地区でリーフレットを配布して食中毒への注意を呼びかけました。

食中毒の発生にあたっては、被害の拡大を防止するための迅速な対応に努め、さらに原因究明による再発の防止を図りました。

平成22年度の食中毒発生状況（厚木保健福祉事務所管内）

発生日	原因施設	喫食者数	患者数	病因物質	原因食品
11月22日	飲食店	30	28	ノロウイルス	不明

(6) 食品衛生講習会

営業施設の食品衛生責任者に対し、食中毒の発生防止を図るため、食品の取扱い・施設の管理・従業員教育等について講習を行いました。また、消費者に対しても家庭における食中毒予防を目的とした講習会を実施しました。

対象者	回数	受講人数	内容
営業者	34	2,346	食品衛生責任者講習会 食中毒予防講習会 給食施設従事者講習会
消費者	4	183	食中毒予防について
合計	38	2,529	

(7) 苦情処理

食品に対する苦情は消費者からの貴重な情報として受けとめ、事実確認のほか、製造・流通・販売の各ルートについて苦情原因の解明と再発防止に努めました。

分類	内容	総数	異物混入	かび	腐敗	味臭異	不衛生	有苦情	その他
	乳・乳製品・乳類加工品	2	1					1	
	魚介類及びその加工品	20	2					10	8
	肉卵類及びその加工品	15	4		1		1	7	2
	穀類及びその加工品	2						2	
	野菜類・果実及びその加工品	11	2	1	2	4		1	1
	菓子類	12	2	1	1	1	2	1	4
	複合調理食品	48	11		3	4		27	3
	その他	9	4		1	1		3	
	不明	8			1			6	1
	施設に関するもの	12					10		2
	合計	139	26	2	9	10	13	58	21

※ 食品の分類は衛生行政報告例に準ずる

(8) 免許取扱い数

項目	免許申請	書換	再交付	合計
調理師	135	6	16	157
製菓衛生師	12			12
ふぐ包丁師	4	1		5
合計	151	7	16	174

2 環境保健対策の充実

(1) 生活衛生指導事業

ア 生活環境指導事業

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場、公衆浴場の許認可及び衛生措置の遵守等を図るため、監視指導を行いました。

また、「墓地、埋葬等に関する法律」(昭和23年法律第48号)第10条の規定に基づく許可等を行いました。

(ア) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	項目 施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 (確 認) 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
理 容 所	335	148	74	82	30	1	10	9	165
美 容 所	584	242	153	140	46	3	35	22	268
ク リ ー ニ ン グ 所	342	148	75	90	28	1	13	22	158
旅 館	91	56	7	3	8	17	4	5	46
興 行 場	6	1	3	1	1				3
公 衆 浴 場	49	26	11	6	2	4	2	1	18
合 計	1,407	621	323	322	115	26	64	59	658

(イ) 免許事務処理

免 許 の 種 類	免 許 申 請	書 換 ・ 訂 正	再 交 付	返 納
ク リ ー ニ ン グ 師				

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
美 容 所 従 事 者 等	1	304

(エ) 生活環境衛生関係施設

区 分	施 設 数	監 視 指 導 件 数
化 製 場	1	1
火 葬 場	2	2
産 あ い 物 処 理 業	1	1

(オ) 墓地等相談件数及び許可件数

年 度	18 年度		19 年度		20 年度		21 年度		22 年度	
	相 談	許 可	相 談	許 可	相 談	許 可	相 談	許 可	相 談	許 可
新 設	2	2		1	4	1	2	2		2
変 更	1	1	2	2						
廃 止		12	1	1		2				
合 計	3	15	3	4	4	3	2	2		2

イ 建築物衛生対策強化事業

法に基づく届出の受理、建築物登録業の登録事務を行うとともに、特定建築物への立入検査及び指導を行い、衛生的環境の確保に努めました。

(ア) 特定建築物設置施設数及び監視指導状況

用 途	施設数	市 町 村 別 施 設 数					内 訳	監視件数
		厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村		
総 数	154	99	28	19	7	1	36	
興 行 場	3	1	1		1		3	
百 貨 店	1	1					1	
店 舗	46	20	14	7	4	1	6	
事 務 所	67	50	8	8	1		21	
学 校	17	11	2	3	1			
旅 館	9	8	1				5	
集 会 場	5	4	1					
図 書 館	2		1	1				
遊 技 場	1	1						
その他学校	3	3						

(イ) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 区 分	登 録 営 業 所 数	監 視 指 導 件 数
建 築 物 清 掃 業	24	9
空 気 環 境 測 定 業	5	2
空 気 調 和 用 ダ ク ト 清 掃 業		
飲 料 水 水 質 検 査 業	5	1
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	32	6
建 築 物 排 水 管 清 掃 業	7	
ね ず み 昆 虫 等 防 除 業	11	4
環 境 衛 生 総 合 管 理 業	4	
合 計	88	22

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
特 定 建 築 物 管 理 者 等	1	56

ウ 浄化槽維持管理推進事業

浄化槽の維持管理について、設置届の受理及び大規模施設への立入調査等を実施するとともに、保守点検業の登録事務及び指導を行い、生活環境の改善に努めました。

(ア) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

項目 規模別等	設置基数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	
501人槽以上	12	5	3	1	3		12
500人槽以下	18,493	7,514	4,308	3,523	2,964	184	23
合 計	18,505	7,519	4,311	3,524	2,967	184	35

(イ) 浄化槽保守点検業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 事 業 者 数	管内登録営業所数	監 視 指 導 件 数
56	19	1

エ 住まいと環境衛生推進事業

ダニアレルギーをはじめとする住まいに起因する健康被害の予防及びねずみ・衛生害虫等の駆除に係る相談窓口を開設し、必要な情報提供や改善方法等の助言指導を行いました。

主 な 相 談 内 容	件 数
衛生害虫等の対策	54 (うち同定12) 再掲
室内空気環境	4
浄 化 槽 等	16
飲 料 水	8

(2) 水浴場等対策事業

プールについて、設置の許可及び監視指導を行うとともに、講習会を開催し、公衆衛生の確保と事故防止に努めました。

ア 水浴場等施設数及び監視指導状況

項目 区分	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
プール	54	12	21	14	5	2		38	

イ 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
プ ー ル 管 理 者	1	20

(3) 温泉指導監督事業

源泉、温泉利用施設の許可及び監視指導を行い、温泉の適正利用及び保護に努めました。

源泉、温泉利用施設

区 分	源 泉 数	利用施設数	源 泉 地 名
厚 木 市	10	9	七沢・飯山・林・厚木
海老名市	2	2	国分南・柏ヶ谷
座 間 市	1	1	座間
清 川 村	4	1	別所
合 計	17	13	

(4) 動物保護等対策事業

犬、猫の飼育指導を行うとともに、犬による事故の状況について調査・指導を行い再発防止に努めました。

ア 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

項目 区分	頭 数	市 町 村 別 頭 数					内 訳 清 川 村
		厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	
犬	15	12	1	1	1		
猫	12	5	1	5	1		
合 計	27	17	2	6	2		

イ こう傷事故の発生状況

市 町 村 別 頭 数						内 訳 清 川 村	合 計
厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	合 計		
7	5	1				13	

ウ 犬、猫の苦情相談等の処理状況

(ア) 動物保護センター依頼分(件数)

捕獲依頼	引取依頼	合 計
30	44	74

(イ) 保健福祉事務所処理分

内容 区分	放し飼い	鳴き声	糞尿	野良猫に餌	その他	合 計
犬	25	37	5		43	110
猫			10	16	36	62
合 計	25	37	15	16	79	172

エ 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況（参考）

区分	項目	頭数	市 町 村 別 頭 数 内 訳				
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
登 録		31,421	13,276	7,047	7,538	3,231	329
内	新規登録	2,375	937	530	664	224	20
	狂犬病予防注射	25,636	11,107	6,148	5,739	2,368	274

(5) 水道指導事業

水道事業の許認可、専用水道の確認及び簡易専用水道の指導を行うとともに、水道水源の水質検査や水道施設の維持管理の指導を行い、安全な飲料水の確保に努めました。

ア 水道施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	
上	水道	2			1	1		1
	簡易水道	1					1	1
	専用水道	55	29	15	9	1	1	39
	簡易専用水道	953	463	221	200	62	7	22
	合 計	1,011	492	236	210	64	9	63

イ 小規模水道等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	
小規模水道		27	21	2	2	2		27
小規模受水槽水道		909	430	131	260	71	17	2
	合 計	936	451	133	262	73	17	29

ウ 水道普及状況

(平成22年3月末現在)

区分	項目	総数	市 町 村 別 給 水 人 口 内 訳				
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
上水道(県営)		359,572	223,497	126,976		9,099	
上水道(市町営)		157,909			128,852	29,057	
簡易水道		3,450					3,450
専用水道(自己水源)		1,209	631	578			
	合 計	522,140	224,128	127,554	128,852	38,156	3,450
行政区域内総人口		526,371	225,242	127,130	129,005	41,462	3,532
普及率(%)		99.2	99.5	100.3	99.9	92.0	97.7

3 医薬品等安全対策の充実

医薬品等の安全性・有効性、品質の確保、適正使用の推進及び安全対策の充実並びに麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止対策の強化などを通して県民の健康づくりと地域における保健医療サービスの向上に努めました。

(1) 薬事指導監督事業

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

業種 市町村	総数	薬局	医薬品販売業						薬局 医薬品製 造販売業	薬局 医薬品製 造業	医薬品 等製造業	医療機器 販売・貸 貸業
			一般	店舗	卸売	薬種商	特例	小計				
厚木市	934	78	7	32	64	2	5	110	7	7	58	674
海老名市	399	35	1	15	8	1	3	28	4	4	14	314
座間市	293	31	4	15	6	1		26	4	4	13	215
愛川町	122	11	1	5	3			9			16	86
清川村	2											2
計	1,750	155	13	67	81	4	8	173	15	15	101	1,291

イ 薬局・医薬品販売業等取扱い件数

区分 業種	総数	薬局	医薬品販売業						製造販売業 薬局医薬品 製造業	薬局 医薬品 製造業	販売・ 医療機器等 高度管理 貸貸業	管理 医療機器 販売・ 貸貸業
			一般	店舗	卸売	薬種商	特例	小計				
新規許可申請	226	13	27	27	17			71			13	129
許可更新申請	132	34	1		8		1	10	4	4	80	
製造販売承認申請												
製造販売届												
許可証等書換・再交付申請	10	2			4			4			4	
管理者兼務許可申請	12				12			12				
医薬品販売先変更許可												
変更 構造設備	38	8		9	11			20			10	
管理 者	187	43	2	24	2			28	1	1	54	60
届 その他の	532	294	1	105	68		5	179			51	8
休止・再開届	8	1		2	1			3			2	2
廃止届	101	14	19	2	10	3	1	35	5	5	15	27

ウ 薬事監視実施状況

項目 業種	総数	薬局	医薬品販売業						製造販売業 薬局医薬品 製造業	薬局 医薬品 製造業	医薬品等 製造業	販売・ 貸貸業	医療機器
			一般	店舗	卸売	薬種商	特例	小計					
対象数	1,750	155	13	67	81	4	8	173	15	15	101	1,291	
立入検査	678	89	43	59	48		7	157	14	14	38	366	
違反件数	5	3		1				1				1	

(2) 毒物・劇物指導監督事業
ア 毒物・劇物販売業等施設数

業種 市町村	総数	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者	
		一 般		農 業 用 品 目	特 定 目 小 計				
		専 業	兼 業						
厚 木 市	142	28	84	16	4	132	5	1	4
海 老 名 市	37	5	25	4		34	1	1	1
座 間 市	35	1	29	1		31	2	1	1
愛 川 町	16		9	4		13	2	1	
清 川 村	1			1		1			
計	231	34	147	26	4	211	10	4	6

イ 毒物・劇物販売業等取扱い件数

業種 区分	総 数	毒物・劇物販売業					業 務 上 取 扱 者
		一 般		農 業 用 品 目	特 定 目	小 計	
		専 業	兼 業				
新規登録申請	14	7	6	1		14	
登録更新申請	34	7	19	7	1	34	
登録票書換え等交付申請	4	1	3			4	
毒物・劇物 取扱責任者	設置届	10	3	6	1	10	
	変更届	27	8	13	6	27	
変更届	構造設備	1	1			1	
	その他	7	2	5		7	
廃 止 届	16	11	5			16	

ウ 毒物・劇物監視実施状況

業種 項目	総 数	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一 般		農 業 用 品 目	特 定 目	小 計				
		専 業	兼 業							
対象数	231	34	147	26	4	211	10	4	6	
立入検査	115	19	82	8	1	110	4			1
違反件数	1									1

(3) 麻薬指導監督事業
ア 麻薬免許等取扱い件数

業種 区分	総 数	施 用 者	管 理 者	小売業者	卸売業者	研 究 者
新規申請	77	53	7	14	1	2
継続申請	307	250	19	33	2	3
変 更	79	67	5	4	1	2
廃止及び返納	359	292	20	41	2	4
廃 棄 届	41	5	17	12	7	
調剤済廃棄届	144	1	139	4		

イ 麻薬監視実施状況

業種 項目	総 数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬研究者	麻薬取扱い施設	
					病 院	診 療 所
対 象 数	251	6	78	6	21	140
立 入 検 査	72	3	47		21	1
違 反 件 数						

(4) 薬物乱用防止対策事業
街頭キャンペーン等

実 施 日	名 称	場 所	内 容	参加者(人)
6月26日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	小田急線本厚 木駅前	約1,500人対象 啓発資材配布	36 (11団体)
9月20日	ふれあいフェ スティバル 2010・第27回 社協福祉まつり	座間市立市民 文化会館 (ハーモニー ホール座間)	約1,000人対象 啓発資材配布、啓発パネル の展示 薬物乱用防止指導員による 薬物相談	27 (6団体)
10月24日	えびな安全・安心 フェスティバル	海老名市役所	約1,000人対象 啓発資材配布、着ぐるみに よる啓発、乱用薬物の見本 の展示、ビデオの放映、啓 発パネルの展示 薬物乱用防止指導員による 薬物相談、お薬相談コーナー、 禁煙相談コーナー	38 (9団体)
2月26日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	スーパーコピー オ前(愛川町)	約1,000人対象 啓発資材配布	27 (11団体)

第4章

健やかで安心した生活を支える福祉の推進

1 福祉事業の普及・支援	73
2 福祉事業の推進	77

1 福祉事業の普及・支援

(1) 地域福祉の事業

ア 民生委員児童委員（昭和23年度～）

社会調査、要援護者の指導、福祉施設との連携、関係行政機関への協力など、地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員児童委員の活動費等を負担しました。

区分 市町村名	定 数 (人)						活動件数 (件)		訪問 回数 (回)	連絡調 整回数 (回)	活動 日数 (日)
	4月～11月			12月～			相談・支 援件数	その他の 活動件数			
	民生委員 児童委員	主任児 童委員	合計	民生委員 児童委員	主任児 童委員	合計					
総 数	941	93	1,034	953	94	1,047	12,734	156,413	173,398	90,482	156,787
厚 木 市	262	30	292	263	31	294	4,092	68,225	63,591	34,866	51,327
大 和 市	243	22	265	248	22	270	3,475	34,290	39,052	24,154	40,068
海老名市	126	10	136	131	10	141	930	14,834	30,025	8,031	17,855
座 間 市	132	12	144	133	12	145	2,180	15,523	20,420	10,458	19,960
綾 瀬 市	111	12	123	111	12	123	1,162	16,661	14,118	9,301	18,714
愛 川 町	59	5	64	59	5	64	860	6,195	5,610	3,168	7,925
清 川 村	8	2	10	8	2	10	35	685	582	504	938

イ 障害福祉相談員（昭和42年度～）

障害者の生活の安定と地域福祉活動の推進を図るため、市町村に設置されている障害福祉相談員に対して活動費を支給しました。

区分 市町村名	定 数 (人)	活 動 件 数 (件)		
		実践活動	相談・助言活動	合 計
総 数	37	4,694	1348	6,042
厚 木 市	13	2,603	895	3,498
大 和 市	10	1,131	199	1,330
海老名市	3	446	97	543
座 間 市	7	116	42	158
綾 瀬 市	1	136	111	247
愛 川 町	2	120		120
清 川 村	1	142	4	146

ウ 地域福祉コーディネーター事業

(ア) 保健福祉圏域内市町村社会福祉協議会地域福祉担当者情報交換会・研修会

地域福祉事業等の情報交換、地域福祉コーディネーター実践事例の検討を通して、地域福祉事業検証方策、今後の事業や活動企画の参考にするため、例年開催してきましたが、今年度については東日本大震災の影響により、中止のやむ無きに至りました。

(イ) 地域福祉コーディネーター養成研修

地域福祉コーディネーター養成研修として、県央保健福祉圏域における団体の取組みについて支援を行い、地域福祉の担い手の養成、地域でのネットワークづくり、ネットワークの機能強化を図ることを目的とした研修を実施しました。

a 厚木市愛川町清川村障害者地域自立支援協議会生活支援部会研修会

障害者福祉における支援者層の地域福祉推進力向上を目指す厚木市愛川町清川村障害者地域自立支援協議会と共催し、生活支援部会の研修会を開催して、地域の障害福祉支援者の地域福祉コーディネーターとしてのスキルアップを図りました。

開催日	内 容	講 師	出席者 (人)
3月2日	厚木市愛川町清川村障害者地域自立支援協議会生活支援部会研修会「地域で『支える・見守る』多職種と地域資源づくり」	ケアタウン総合研究所 所長 高室 成幸	29

b 大和市地区社会福祉協議会ボランティアスキルアップ講座「高齢者との“傾聴”活動について」

大和市においては地区社会福祉協議会(地区社協)が中心となり小地域福祉活動を推進していますが、その担い手に対して、「地域福祉コーディネーター」としてのスキルアップを図る目的で講座を開催しました。

開催日	内 容	講 師	出席者 (人)
8月6日	「高齢者等との傾聴の基本」 ・傾聴ボランティア活動実践について	NPO法人シニアライフ セラピー研究所 理事長 鈴木 茂	29
8月18日	「傾聴をコミュニケーションの視点から考える」 ・面接、傾聴、話し方 ・模擬面接の演習	東京工芸大学 准教授 大島 武	36

9月10日	「傾聴をコミュニケーションの視点から考える」 ・第1日目、第2日目を受け、参加者の事例についてグループ討議	大和市社会福祉協議会 柴崎 崇	32
	「神奈川県地域福祉コーディネーターの推進について」	当所保健福祉課 西田 統	

- c 大和市地域福祉コーディネーター研修「地域分析とネットワーク構築の手法を学ぶ～本当に必要なネットワークをつくる～」

住民の抱える生活課題の声を受け止めるため、課題解決に向けた行動を求められる人材(保健師、看護師、市社協の職員、地域包括支援センター職員等)が、地域の多様な組織や個人とのネットワークをつくる役割を担うことが可能になるよう、地域の課題やニーズの把握、ネットワーク構築の技術にかかる研修を実施しました。

開催日	内 容	講 師	出席者(人)
9月10日	「地域福祉コーディネーターの役割」	神奈川県地域保健福祉課 間ヶ部 信子	25
	「地域分析のすすめ」	NPO 法人 市民セクター横浜 佐塚 玲子	
10月8日	「本当に必要なネットワークをつくる」	NPO 法人 市民セクター横浜 佐塚 玲子	24

- d 清川村地域福祉コーディネーター事業「清川村地域福祉コーディネーター養成研修」

地域の自治会等住民活動の活性化、担い手の養成等を図るため、地域活動においてリーダーシップを担うべき人材に対して研修を実施しました。

開催日	内 容	講 師	出席者(人)
11月18日	「地域福祉施策の概要について」	神奈川県地域保健福祉課 間ヶ部 信子	17
	「住民有志による福祉バスの運行等について」	山北町共和福祉バス 運営会長 杉本 一	
11月26日	「ご近所サロン活動の手法を学ぶ～『ダイヤモンドクラブ』の手法を学ぶ」	ボランティアグループ 「すずの会」 代表 鈴木 恵子	15
12月6日	「福祉マップによる地域課題の発見と解決」	東京家政学院大学 教授 高橋 幸三郎	13

エ みんなのバリアフリー街づくり条例普及

神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の周知と内容の普及のため、地域のイベントへ参画し、パネル展示やパンフレットの配布、クイズ・アンケートの実施等普及啓発活動を行いました。

開催日	内 容	場 所	参加者(人)
6月6日	「あいかわ健康の日 2010」での普及活動	愛川町 役場	120

(2) 福祉の貸付事業

母子福祉資金等の貸付（昭和28年度～）

母子家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸付をしました。

（単位：件）

区分 市町村名	事業	事業	技能	就職	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	合計
	開始	継続	習得	支度			介護			支度			
母子 福祉 資金	厚木市					4		3	34	22			63
	海老名市								3	5			8
	座間市								21	15	1		37
	愛川町		1						4	1	1		7
	清川村								2				2
	合 計		1				4		3	64	43	2	117
寡婦 福祉 資金	厚木市												
	海老名市												
	座間市												
	愛川町												
	清川村												
	合 計												

2 福祉事業の推進

社会福祉法による福祉事務所として、愛甲郡愛川町と清川村を所管し生活保護法、母子及び寡婦福祉法、児童福祉法等を施行しています。

(1) 生活保護

生活保護制度は、国民の最低生活の保障という社会保障制度の根幹をなす制度です。要保護者の最低生活の保障と自立の助長を図るため、国の法定受託事務として町村の協力を得ながら実施しています。保護率は平成4年度（平均）の2.17%を最低とし、その後は経済状況の低迷等を背景に増加に転じ、特に平成20年秋以降の世界同時不況による雇用情勢の悪化によって被保護世帯数・人員とも急増し続けています。平成22年度末の保護率（平均）は11.40%です。

ア 被保護世帯数・人員（平成23年3月31日現在）

区 分	総 数	生活 扶 助	住 宅 扶 助	教 育 扶 助	医 療 扶 助	介 護 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助	葬 祭 扶 助	
総 数	世帯数	341	283	287	41	294	50		15	2
	人 員	513	433	443	58	426	52		16	2
愛川町	世帯数	312	268	272	41	269	47		15	2
	人 員	484	418	428	58	401	49		16	2
清川村	世帯数	29	15	15		25	3			
	人 員	29	15	15		25	3			

イ 保護の開始・廃止

(ア) 理由別開始世帯の状況（年度計）

区 分	総 数	世帯 主の 傷病	世帯 員の 傷病	死 亡 離 別 不 在	稼働収入の減少				年 金 の 減 少 等	仕 送 り の 減 少 等	預 貯 金 の 消 費	要 保 護 者 の 転 入	そ の 他
					定 年 失 業	老 齢	倒 産 等	そ の 他					
総 数	105	26	4	3	14	5		4	4	4	13	2	26
愛 川 町	99	26	4	3	13	3		4	4	3	13	2	24
清 川 村	6				1	2				1			2

(イ) 理由別廃止世帯の状況 (年度計)

区 分	総 数	世帯主傷病の治癒	世帯員傷病の治癒	死 亡	失 踪	稼働収入の増加	働き手の転入	年金等の増加	引 取 り	施 設 入 所	医 療 他 法	要保護者の転出	そ の 他
総 数	81			16	7	29		5	4	1		4	15
愛 川 町	75			13	7	28		5	4			3	15
清 川 村	6			3		1				1		1	

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 数	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
総 数	341	125	40	45	86	45
愛 川 町	312	109	40	39	80	44
清 川 村	29	16		6	6	1

エ 労働力類型別被保護世帯の状況 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 数	稼 働 世 帯					非稼働世帯
		世帯主が働いている世帯				世帯員稼働	
		常 用	日 雇	内 職	そ の 他		
総 数	341	46		4	1	7	283
愛 川 町	312	46		4	1	7	254
清 川 村	29						29

オ 医療扶助 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

区 分	入 院		入 院 外	
	精 神	そ の 他	精 神	そ の 他
総 数	18	12	3	389
愛 川 町	7	11	3	376
清 川 村	11	1		13

カ 生活保護施設措置状況 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

区 分	救 護 施 設	更 生 施 設
総 数	3	
愛 川 町	3	
清 川 村		

キ 保護の開始廃止件数の推移

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
開 始	68	97	141	117	105
廃 止	42	78	111	92	81

ク 保護世帯等の推移（年度平均）

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
世 帯 数	206	233	266	313	341
人 員	310	357	400	475	513
保 護 率 %	6.82	7.71	8.87	10.56	11.40

ケ 生活保護費の状況（22年度計）

（単位：円）

区 分	総 額	内 訳			
		生 活 扶 助	住 宅 扶 助	教 育 扶 助	医 療 扶 助
総 額	394,365,197	237,980,716	130,523,561	6,333,813	6,841,140
愛 川 町	379,839,849	227,557,668	126,560,821	6,333,813	6,701,580
清 川 村	14,525,348	10,423,048	3,962,740	0	139,560

区 分	内 訳				
	介 護 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助	葬 祭 扶 助	施 設 事 務 費
総 額	69,060	263,400	3,781,562	1,936,125	6,635,820
愛 川 町	69,060	263,400	3,781,562	1,936,125	6,635,820
清 川 村	0	0	0	0	0

(2) 障害児者福祉

郡部を所管する福祉事務所においては、特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当（経過措置分）の支給事務を行っています。

特別障害者手当等の支給状況（平成23年3月31日現在）

区 分	特別障害者手当	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)
総 数	18	8	1
愛 川 町	16	6	1
清 川 村	2	2	

(3) 児童福祉

郡部を所管する福祉事務所における児童福祉法の業務として、母子生活支援施設並びに助産施設に関する相談・入所措置事務を行っています。

ア 母子生活支援施設利用状況（平成 23 年 3 月 31 日現在）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数		2

イ 助産施設利用状況（年度計）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	2	

(4) 女性保護

売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づき、要保護女子の相談指導並びに女性相談所等への一時保護を行っています。

女性相談員相談状況（主訴別取扱状況）

（平成 22 年度）

区分	総計	人間関係														
		夫等				子ども			親族			家庭不和	その他の者の暴力	男女問題	その他	
		夫等の暴力	酒乱・薬物中毒	離婚問題	その他	子どもの暴力	養育不能	その他	親の暴力	暴力的親族	その他					
総数	37	18		7	1							1				
愛川町	22	9		4	1							1				
清川村	12	8		3												
その他	3	1														

区分	住居問題	帰宅先なし	経済関係				医療関係				不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	五条違反	
			生活困窮	借金サラ金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産	その他					
総計	2		5		1		2								
愛川町	2		3		1		1								
清川村			1												
その他			1				1								

※その他は、愛川町・清川村以外の都道府県市町村からの相談

(5) 母子寡婦福祉

母子自立支援員を配置し、母子寡婦福祉資金の貸付など母子寡婦の生活全般にわたる相談を行っています。

母子自立支援員相談状況

(平成 22 年度)

区	分	総 数	愛 川 町	清 川 村	そ の 他	小 計	
総	数	490	298	189	3	490	
生 活 一 般	住 宅	207	4	2		6	
	医 療		病 気	1	4		5
			障 害				
			そ の 他	4			4
	家 庭 紛 争		夫等の暴力	31	11	1	43
			そ の 他	11	30		41
	就 労		求職・転職	15	4		19
			資格取得	6			6
			職業訓練				
			職場の悩み				
	そ の 他		5			5	
	結 婚						
	養 育 費			2			2
借 金							
そ の 他		36	38	2	76		
児 童	養 育	保育所入所					
		虐 待	1			1	
		そ の 他	3	12		15	
	教 育	10	10		20		
	非 行						
	就 職	1			1		
そ の 他	3	8		11			
生 活 援 護	母子福祉 資 金	貸 付	68	10		78	
		償 還	65	2		67	
	寡婦福祉 資 金	貸 付	3			3	
		償 還					
	公 的 年 金	1			1		
	児 童 扶 養 手 当	5	1		6		
	生 活 保 護	2	9		11		
税							
そ の 他		13	6		19		
そ の 他	売 店						
	た ば こ 販 売						
	公 営 住 宅						
	母子福祉施設利用						
母子生活支援施設		8	42		50		

第5章

保健・医療・福祉基盤づくりと連携

1 保健医療福祉計画の推進	82
2 保健医療福祉の基盤づくり	84
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	87
4 健康危機管理対策	97

1 保健医療福祉計画の推進

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成9年度～）

医療法に基づく、二次保健医療圏である県央地区（厚木・大和保健福祉事務所管内）の保健・医療・福祉に係る重要事項を協議するため県央地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内 容	出席委員（人）
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県央地区地域保健医療計画の進行管理について ・ 県央地区救急医療体制について ・ 医療連携について ・ 地域医療再生計画について 	25

(2) 地域医療対策

県央二次保健医療圏における地域医療の確保、整備・充実に必要な事項を協議するため県央地区地域医療専門部会等を設置しています。

ア 県央地区地域医療専門部会の開催（平成20年度～） 平成22年度開催なし

イ 県央地区二次救急医療広域協力円滑化ワーキンググループの開催（平成21年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪番調整案について 	22
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルール変更案について ・ 輪番調整案について 	21

ウ 厚木地区糖尿病クリティカルパス研究会の開催（平成20年度～）

開催日	内 容	出席者（人）
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病連携パスポートについて ・ 糖尿病の医療機能の連携体制（厚木地区） ・ 今後の取り組み 	10

エ 脳卒中・心筋梗塞医療連携調整会議の開催（平成22年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
7月29日 （脳卒中）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県のこれまでの取組 ・ 脳卒中医療の地域連携 ・ 各医療機関の現状、課題等について ・ 県央地区における今後の連携について 	14
9月28日 （心筋梗塞）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心筋梗塞の診断、治療に係る各医療機関の現状、課題等について ・ 県央地区心臓循環器救急医療ネットワークについて ・ 急性心筋梗塞地域連携パスについて 	9

(3) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域保健総合部会を設置しています。

ア 県央地区地域保健総合部会の開催（平成 20 年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
2 月 10 日	地域・職域連携推進事業について ・ がん検診受診促進モデル事業について ・ メンタルヘルス対策について ・ 情報ネットワークの活用について	26

2 保健医療福祉の基盤づくり

(1) 保健衛生研修

地域保健活動を展開する上での新たな専門的知識・技術の習得を図るため、県央地区の保健医療福祉関係職員等の研修を実施しました。

項目	実施日	内 容	講 師	受講者数 (人)
母子保健 対策推進 研修(1回)	8月12日	妊産婦訪問時のコミュニケーション	日本赤十字看護大学 教授 井村 真澄	28
在宅歯科 衛生士研 修(2回)	7月29日	知的障害者への口腔ケア支援方法	八王子市保健所 歯科衛生士 宮下 順子	38
	3月17日	口腔機能向上プログラムの普及と国及び全国的な現状	東京医科歯科大学歯学部附属 病院歯科総合診療部 講師 大原 里子	東日本大 震災の影 響により、 中止

(2) 保健福祉事務所実習指導

ア 看護学生等合同オリエンテーション

前期 平成22年4月9日(金) 58名

後期 平成22年9月3日(金) 39名

イ 実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数(人)	備 考(学校名等)
総 数	22	99	
保 健 師	5	25	県立保健福祉大、北里大、東海大、昭和大、 横浜市立大
助 産 師	0	0	
看 護 師	11	58	湘南平塚、厚木 他
栄 養 士	4	14	県立保健福祉大、鎌倉女子大、関東学院大、 相模女子大
歯 科 衛 生 士	0	0	
そ の 他	2	2	日本医療マネジメント学会(医療連携室 看護師)、相模原市立若草中学校

(3) 医師臨床研修地域保健研修(平成17年度～)

医師法に基づく医師臨床研修に伴う地域保健研修として、地域保健・公衆衛生全般に関する研修を実施しました。

平成 22 年度受け入れ病院及び研修医の人数

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	合計
厚木市立病院		1	1	1	1	1		5
東海大学医学部付属病院			1	1				2
北里大学病院		1				1		2
合 計		2	2	2	1	2		9

(4) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

- ア 国民生活基礎調査 調査日 6月3日 対象数 10地区 537世帯
- イ 2010年社会保障・人口問題基礎調査「第14回出生動向基本調査」
調査 6月25日 対象数 4地区 228世帯
- ウ 人口動態調査（月報）
- エ 医療施設動態調査（月報）
- オ 地域保健・健康増進事業報告（年度報）
- カ 社会福祉統計報告（月報、四半期報、年度報）
- キ 衛生行政報告例（年度報）
- ク 病院報告（患者票：月報、従事者票：年度報）

(5) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙、有線放送等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア 市町村広報紙の活用

毎月全世帯配布で発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ 県央愛川農業協同組合有線放送の活用

毎月1回、加入世帯に対して健康・食品・環境衛生等についての講話を放送しました。

4月	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が施行されました	10月	歯の健康について
5月	たばこについて	11月	インフルエンザについて
6月	薬物乱用の防止について	12月	食中毒の予防について（ノロウイルス）
7月	食中毒の予防について	1月	結核の予防について
8月	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について	2月	生活習慣病予防「朝食を食べましょう」
9月	動物の飼育と愛護について	3月	心の健康について

ウ 厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせ及び新型インフルエンザ相談窓口の案内を掲載し、広く県民への周知を図りました。

(6) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。(活動した時間4時間を1人として換算)

区分	市町村事業	総数 (人)	厚木市 (人)	海老名市 (人)	座間市 (人)	愛川町 (人)	清川村 (人)
保健師	母子保健	79	37	12	12	12	6
	老人保健						
	健康増進	6				1	5
	精神保健福祉	47	20	27			
	その他						
	小計	132	57	39	12	13	11
栄養士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進	5	1	1	1	1	1
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	5	1	1	1	1	1
歯科医師	母子保健	4					4
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	4					4
歯科衛生士	母子保健	4					4
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	4					4
精神保健福祉士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉	32	1	1	2	17	11
	その他						
	小計	32	1	1	2	17	11
合	計	177	59	41	15	31	31

3 適正な保健・医療・福祉等の確保

(1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項 目	病 院		診 療 所			助 産 所	あんま・ はり・ きゅう	柔道整復	歯 科 技 工 所
	病 院	X線装置	一 般	歯 科	X線装置				
総 数	54	52	97	24	78	1	41	30	4
許 可 申 請	開 設		7	2					
	使 用	11	3						
	変 更 等	27	11	1					
届 出	開設・ 設置		8	21	4	36	26	10	1
	変 更 等	16	34	35	11	4	8	16	1
	休 廃 止		10	20	6	38	1	4	2

(2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設の分類と検査実施サイクル

- | | | |
|-----------|------------------|---------|
| ① 病院 | 病床を20床以上有する医療施設 | 毎年1回 |
| ② 有床診療所 | 19床以下の病床を有する医療施設 | 3年に1回以上 |
| ③ 人工透析診療所 | 人工透析設備を有する医療施設 | 3年に1回以上 |
| ④ 特定眼科診療所 | 要綱に定める要件を充たす医療施設 | 5年に1回以上 |

医療施設定期立入検査対象機関数

(平成22年4月1日現在)

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計
病院	12	5	3	1	1	22
有床診療所	8	9	4			21
人工透析診療所	2	2	1			5
特定眼科診療所	1	1	1			3
合 計	23	17	9	1	1	51

・平成22年度定期立入検査施設

- 病院 22施設(厚木市内12、海老名市内5、座間市内3、愛川町内1、清川村内1)
 診療所 6施設(厚木市内2、海老名市内3、座間市内1)

ア 病院立入検査

名 称	実施日	名 称	実施日
県央胃腸病院	9月 3日	厚木佐藤病院	10月28日
森の里病院	9月14日	湘南厚木病院	11月 4日
座間厚生病院	9月24日	海老名総合病院	11月12日
さがみ野中央病院	9月28日	海老名メディカルサポート センター	11月12日
相模台病院	10月 1日	清川遠寿病院	11月19日
神奈川リハビリテーション病院	10月 7日	仁厚会病院	11月25日
七沢リハビリテーション病院 脳血管センター	10月 7日	相州病院	12月 3日
相武台病院	10月12日	愛川北部病院	12月10日
愛光病院	10月15日	オアシス湘南病院	12月17日
近藤病院	10月22日	東名厚木病院	12月21日
湘陽かしわ台病院	10月22日	厚木市立病院	1月14日

イ 診療所立入検査

有床診療所（3施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
医療法人社団厚成会 海老 名ハートクリニック	1月28日	シータン泌尿器科外科	2月18日
海老名耳鼻咽喉科クリニック	2月 3日		

人工透析診療所（2施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
医療法人社団善仁会 厚木 クリニック	1月25日	医療法人社団永康会 海老 名クリニック	2月24日

特定眼科（1施設）

名 称	実施日
厚木林眼科クリニック	2月 2日

ウ 調査内容

病 院	診 療 所
<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の配置状況、健康診断 ・構造設備 ・医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の配置状況、健康診断 ・構造設備 ・医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等)

エ 調査結果

		病院(件)	診療所(件)
指摘事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に重大な影響を及ぼすおそれがあり、早急な改善が必要な事項	0	1
指導事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に影響を及ぼすおそれがあり、改善が必要な事項	3	7
口頭指導	医療法及び関連法令の違反であって、当該違反事実等の改善が比較的容易であると認められる場合及びその他、所長が特に必要があると認めた事項	57	21

(3) 医療関係相談

ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	6	13	8	5	13	4	3	4	5	6	11	85

イ 相談方法

電話	来庁	メール	合計
76	9		85

ウ 対象施設

病 院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他（エステ等）	合計
47	22	6	4	6	85

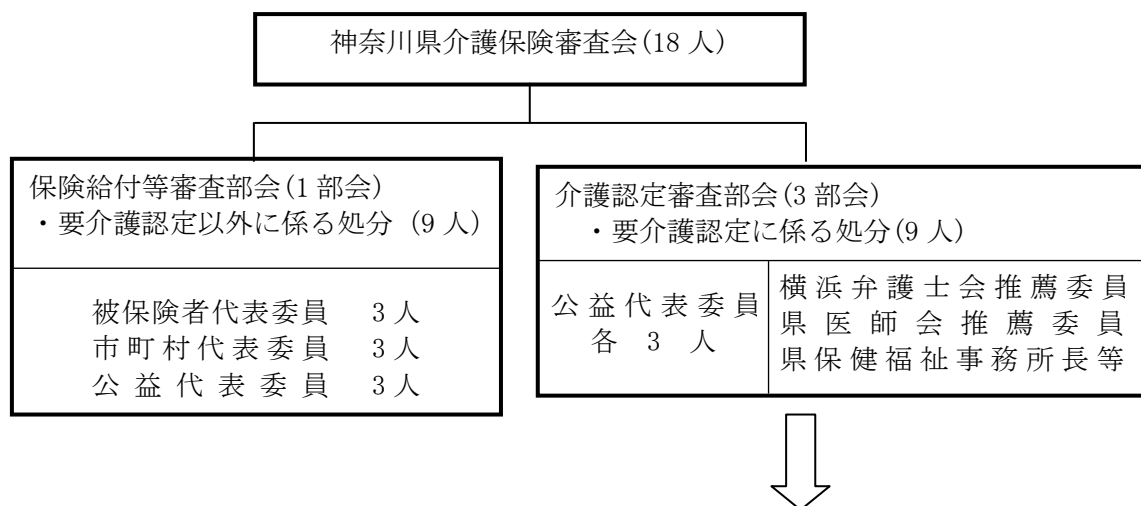
エ 相談内容（重複あり）

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	13
医療行為についての疑義、苦情	12
医療関係法令に関する照会	9
医療機関についての問い合わせ	
その他	61

(4) 介護保険

ア 介護保険審査会運営事業（平成 11 年度～）

介護保険法に基づく市町村の要介護認定結果に対する不服審査請求手続きに係る審査を行う介護保険審査会介護認定審査部会の円滑な運営を図りました。



◇第3部会：対象圏域湘南西部圏域・県央圏域・県西圏域
（委員3人：県大和保健福祉事務所長、医師、弁護士）

審査請求 件数	審査件数			部会開催 回数
	認 容	棄 却	却 下	
0				0

イ 事業者指導（平成13年度～）

介護保険指定事業者等に対し、指定基準に定める介護給付費等サービスの取扱い、介護報酬の請求に関する事項等についての周知徹底と、その遵守を図ることを目的として実施しました。

指定介護保険事業者数<指導対象事業者数> (平成23年3月10日現在)

区 分		厚木市	海老名市	座間市	相模原市	愛川町	清川村	合 計
居 宅 介 護 支 援 事 業 者		41	19	26	130	8	1	225
居 宅 サ ー ビ ス 事 業 者	訪 問 介 護	30	16	23	114	6		189
	訪 問 入 浴 介 護	5	2	1	12	1		21
	訪 問 看 護	8	5	7	17	1		38
	通 所 介 護	32	13	20	115	4	1	185
	通所リハビリテーション	6	3	3	16	2		30
	短期入所生活介護	8	6	5	24	2		45
	短期入所療養介護	5	2	2	17	1		27
	特定施設入所者生活介護	3	9	3	20			35
	福祉用具貸与	6	2	4	30			42
	特定福祉用具販売	8	2	4	36			50
合 計		111	60	72	401	17	1	662
予 防 サ ー ビ ス 事 業 者	訪 問 介 護	29	16	23	112	6		186
	訪 問 入 浴 介 護	5	2	1	11	1		20
	訪 問 看 護	8	5	7	17	1		38
	通 所 介 護	31	13	18	103	4	1	170
	通所リハビリテーション	6	3	3	16	2		30
	短期入所生活介護	8	6	5	24	2		45
	短期入所療養介護	5	2	2	17	1		27
	特定施設入所者生活介護	3	8	3	17			31
	福祉用具貸与	6	2	4	30			42
	特定福祉用具販売	8	2	4	36			50
合 計		109	59	70	383	17	1	639
介 護 保 険 施 設	介護老人福祉施設	8	6	5	26	2		47
	介護老人保健施設	4	2	2	11	1		20
	介護療養型医療施設	1	1	1	9			12
	合 計	13	9	8	46	3	0	79

※みなし指定事業者は指導の対象外

(ア) 集団指導

厚木市、海老名市、座間市、愛川町、清川村、相模原市に所在する介護保険指定事業者等を対象に、サービス別留意点、事業者指導等について講習会を実施しました。なお、集団指導は、県介護保険課、高齢施設課、各保健福祉事務所が共同して開催しました。

開催	会場	対象
5月21日	神奈川県 総合医療会館	通所リハビリテーション、介護療養型医療施設(短期入所療養介護を含む)の各事業者
6月3日	神奈川県 総合医療会館	訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導(医科、歯科、薬局)の各事業者
6月15日	鎌倉芸術館	特定施設入居者生活介護(短期入所生活介護を含む)の事業者
6月23日 6月24日	海老名市 文化会館	居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、介護老人福祉施設(短期入所生活介護を含む)の各事業者

(イ) 実地指導

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所において、指定基準等に基づき、帳票類等関係書類を閲覧し、関係者から面談方式により行いました。

a 居宅介護支援事業者・居宅サービス事業者に対する実地指導の実施状況

(平成23年3月10日現在)

区分		対象数	実地指導
居宅介護支援事業者		225	43
居宅サービス事業者	訪問介護	189	36
	訪問入浴介護	21	5
	訪問看護	38	7
	通所介護	185	36
	通所リハビリテーション	30	12
	短期入所生活介護	45	3
	短期入所療養介護	27	10
	特定施設入所者生活介護	35	4
	福祉用具貸与	42	5
	特定福祉用具販売	50	6
合計		662	124
予防サービス事業者	訪問介護	186	35
	訪問入浴介護	20	5
	訪問看護	38	7
	通所介護	170	29
	通所リハビリテーション	30	12
	短期入所生活介護	45	3
	短期入所療養介護	27	10
	特定施設入所者生活介護	31	4
	福祉用具貸与	42	5
	特定福祉用具販売	50	6
合計		639	116

b 介護保険施設に対する実地指導等の実施状況

(a) 指定介護老人福祉施設実地指導

施設名	実施日
社会福祉法人三栄会 特別養護老人ホーム ベルホーム	7月21日
社会福祉法人誠々会 特別養護老人ホーム 甘露園	1月17日
社会福祉法人城山楽寿会 ライフホーム城山	3月3日

(b) 介護老人保健施設実地指導

施設名	実施日
医療法人社団愛清 介護老人保健施設 せせらぎ	6月30日
医療法人社団昌栄会 介護老人保健施設 のどか	10月13日
医療法人社団仁和会 介護老人保健施設 とき	10月20日
医療法人社団敬祥会 介護老人保健施設 ケアガーデン さがみ湖	10月27日
医療法人社団小松会 介護老人保健施設 清泉の郷	11月10日
医療法人社団明和会 上溝介護老人保健施設 いずみ	11月17日
医療法人社団晃友会 介護老人保健施設 グリーンヒルズ相模原	11月24日
医療法人社団仁厚会 介護老人保健施設 ぬるみず	12月14日
社会医療法人社団三思会 介護老人保健施設 さつきの里あつぎ	1月13日

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項目	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	診療放射線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士	受胎調節実地指導員
登録申請	409	17	8	19	25	6	122	6	33	61	5	13	45	21	19	2	4	3
籍訂正	275	4	1	27	14	6	117	32	17	24	6	13		10	2	1	1	
再交付	34	1	1	1			10	10	4	5	1		1					
登録抹消	12		4		1		1	6										
返納	2						1			1								

(6) 献血

平成22年度、神奈川県献血目標の321,390人のうち厚木保健福祉事務所の目標は12,779人(5,028リットル)と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、10,531人に献血をしていただきました。

ア 献血数・目標数(市町村別)

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)
総数	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		
厚木市	5,685	4,553	186	14	5,499	4,539		
海老名市	4,391	3,763	144	35	4,247	3,728		
座間市	1,884	1,579	61	38	1,823	1,541		
愛川町	785	596	26	14	759	582		
清川村	34	40	1		33	40		

イ 年次別献血数・目標数

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)
平成7年	15,240	12,249	5,270	3,317	9,970	8,932		
平成12年	12,686	13,975	2,410	2,848	10,276	11,127		
平成15年	11,532	12,986	919	954	10,613	11,980		52
平成16年	11,928	12,038	579	757	11,221	11,247	128	34
平成17年	12,027	11,744	460	1,027	11,512	10,716	55	1
平成18年	11,581	14,379	462	1,288	11,119	13,091		
平成19年	10,558	14,931	411	988	10,147	13,943		
平成20年	12,572	14,106	430	436	12,142	13,670		
平成21年	12,672	11,558	447	122	12,225	11,436		
平成22年	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		

(7) 表彰

ア 神奈川県保健衛生表彰（知事）〔平成 22 年 11 月 16 日：神奈川県総合医療会館〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	徳川 英雄	医師 荻野クリニック
	高橋 裕一郎	医師 腎健クリニック
	原 孝一	放射線技師 海老名総合病院附属 海老名メディカルポータルセンター
	伊東 由美子	医療事務 厚木整形外科
環境衛生関係功労者	上平 芳子	美容業 ハー&フェイスサロン かみひら
食品衛生関係功労者	梶沼 勝雄	菓子製造業 山形屋製菓
地域公衆衛生活動関係功労者	石川 志げ利	食生活改善推進団体あゆみ会

施設の部

施設名	業種	施設の所在地
風味堂	飲食店営業	愛川町中津

イ 保健衛生表彰（厚木保健福祉事務所長）〔平成 22 年 11 月 11 日：厚木市文化会館〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	関根 富佐夫	医師 関根医院
	野澤 富一	医師 のぞわ小児科内科医院
	佐藤 大三	医師 さがみが丘耳鼻咽喉科医院
	大山 守彦	歯科医師 大山歯科医院
	山名 裕見	歯科医師 山名歯科医院
	大山 晃	歯科医師 大山歯科医院
	青木 茂昌	薬剤師 ドラッグくすり箱
	山田 豊美	保健師 厚木佐藤病院
	都高 次子	准看護師 森の里病院
	藤本 洋志	病院事務職 さがみ野中央病院
環境衛生関係功労者	鵜塚 智行	獣医師 動物病院アニマリート
	野上 悦子	理容師 浅井理容店
	古川 薫	美容師 かおる美容室
食品衛生関係功労者	熊野 重也	飲食店営業 食彩亭しげ路
	中島 進	食品販売業 中島青果店
	三好 正秋	食品販売業 セブンイレブン愛川半原店
地域公衆衛生活動功労者	田口 登志子	食生活改善推進団体あゆみ会

優良施設

施設名	業種	施設の所在地
神奈川五味クリーニングセンター	クリーニング業	愛川町中津
三橋豆腐店	豆腐製造業	厚木市小野
そば処仙場	飲食店営業	愛川町中津
洋菓子工房リジェール	菓子製造業	海老名市国分南
大千里	飲食店営業	座間市相模が丘

献血推進団体

表彰団体名	所在地
株式会社 ソキア・トプコン	厚木市長谷

4 健康危機管理対策

(1) 災害対策

平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受け、厚木保健福祉事務所においても、相談窓口の設置など災害対策に取り組みました。

ア 計画停電への対応

東日本大震災の発生により東京・東北電力管内の電力供給力は大幅に減少し、平成23年3月14日（神奈川県では3月15日）からは緊急措置として計画停電が実施されました。厚木保健福祉事務所においても、医療機関や人工呼吸器等使用の在宅療養患者等に対し、注意喚起や情報提供を行いました。

イ 原子力発電所事故への対応

東日本大震災の発生により、福島第一原子力発電所が大きな被害を受け、原子力事故が発生し、放射性物質の環境への放出が生じました。神奈川県では、平成23年3月23日から、県庁及び保健福祉事務所に「食品と健康に関する相談窓口」を設置しました。

期 間	厚木保健福祉事務所 の相談件数
3月23日～3月31日	75

(参考) 被災地への職員派遣

神奈川県では、平成23年3月23日から、岩手県大槌町に「心のケアチーム」と「保健師チーム」を派遣し、避難所の巡回等による支援を行いました。厚木保健福祉事務所からも、平成23年4月以降、保健師や福祉職が派遣されました。

第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	98
2 各種協議会委員一覧	101
3 地域保健推進特別事業	103
4 職員の研究・学会等発表	103

1 保健福祉事務所の沿革

(1) 沿革

ア 厚木保健福祉事務所（厚木保健所）

昭和	15年	9月	愛甲郡厚木町川田 1328 番地に開設 管轄区域は愛甲郡一円（2 町 15 村）であり、管内人口は 46,250 人（男 23,284 人、女 22,966 人）
	24年	4月	所轄区域（愛甲郡一円、座間町、海老名町、有馬村）が変更
	27年	5月	厚木町厚木 1806 番地に新築移転
	28年	10年	課制（総務課、衛生課、保健予防課）施行
	42年	6月	厚木市水引 2-3-6 に新築移転（県庁舎）
	44年	7月	総務課を管理課に課名変更
	45年	7月	次長制を設置し、保健婦係が保健婦室となりました。
	46年	6月	座間保健ステーション（座間市栗原 4989-1）開設
	49年	8月	衛生課が環境衛生課と食品衛生課に分かれ、4 課 1 室制となりました。
	51年	7月	環境、食品衛生課担当の技幹制を設置
	55年	4月	海老名支所（海老名市さつき町 39 の 1 番地）開設
	58年	6月	保健婦室が健康指導課となりました。
	60年	4月	座間保健ステーションを座間市に移管 保健衛生部と環境衛生部の 2 部制となりました。
	60年	5月	厚木市水引 2-3-1 に住居表示が変更
	61年	3月	試験検査室等改修及び耐震補強工事完成
	61年	4月	保健衛生部衛生検査課を設置
平成	2年	9月	開所 50 周年を迎えました。
	5年	4月	食品衛生課に食品衛生専門監視班を設置
	9年	4月	海老名支所の廃止とともに、県央地区行政センター福祉部 と統合し、厚木保健福祉事務所として設置され、管理課、 企画調整室、保健福祉部保健福祉課・保健予防課・生活福 祉課、生活衛生部環境衛生課・食品衛生課・衛生検査課の 2 部 1 室 7 課となりました。

- 15年 6月 衛生検査課が衛生研究所に組織改編され、2部1室6課となりました。
- 19年 3月 津久井保健福祉事務所の廃止により、相模原市の介護保険事業者指導等が当所の所掌事務に加わりました。
- 19年 4月 企画調整室が企画調整課と変更され、2部7課となりました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

イ 愛甲福祉事務所

- 昭和 26年 10月 社会福祉事業法に基づき福祉事務所を開設
管轄区域は、愛川町、高峰村、中津村、煤ヶ谷村、宮ヶ瀬村、厚木町、南毛利村、玉川村、荻野村、小鮎村、睦合村、依知村の2町10村となりました。
- 30年 7月 行政組織改正により次長制を廃止。保護課が福祉課となる。
厚木町の市制施行町村合併により所轄区域変更（愛甲郡、高座郡、三浦郡）。また、高座愛甲福祉事務所と改名し事務所も厚木市内に移転しました。
- 42年 6月 行政組織改正により次長制度を復活し、総務課、福祉課、保護課の3課制となりました。
- 44年 7月 行政機関設置条例の一部改正により県央福祉事務所と改名、所轄区域は、葉山町、寒川町を湘南福祉事務所へ移管し、伊勢原町が当管内に移りました。
行政組織改正により、専任所長制となりました。
- 46年 3月 伊勢原町の市制施行により所轄区域から除外
- 46年 11月 海老名町及び座間町の市制施行により、所轄区域から除外
- 53年 11月 綾瀬町の市制施行により、所轄区域から除外
- 60年 4月 行政組織改正により県央地区行政センター福祉部（愛甲福祉事務所）となりました。
- 平成 5年 4月 身体障害者福祉法、老人福祉法が町村に移譲されました。
- 9年 4月 行政組織改正により、厚木保健福祉事務所（愛甲福祉事務所）となりました。
- 15年 4月 知的障害者福祉法が町村に移譲されました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長

平成 9年4月～ 村上 賢二
 平成11年4月～ 堀井 昌子
 平成13年4月～ 西平 浩一
 平成16年4月～ 山徳 みゑ
 平成18年4月～ 岡部 英男
 平成23年4月～ 鈴木 仁一

(3) 施設の状況

ア 土地

	所在地	用 途	面 積 (㎡)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	厚木市水引 2-3-1	敷 地	3,030.34 ㎡	県 有	S41.12.14

イ 建物

	名 称	構 造	面 積 (㎡)	所有区分	所得年月日
厚木保健福祉事務所	別 館	R C 2	1,292.28	県 有	S42.3.31
	車 庫	R C 平	97.07	〃	S42.3.31
	〃	〃	70.80	〃	S44.12.20
	倉 庫	B 平	20.22	〃	S47.3.10
	〃	木 平	4.86	〃	S54.11.20
	〃	S F 平	8.02	〃	H14.3.25
	ボンベ庫	B 平	2.56	〃	S61.3.27
	計		1,495.81		
厚木合同庁舎	本館 4 階	R C 5	702.23	使 用	H8.4.1

2 各種協議会委員一覧

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿（平成22年度）

分野	氏名	役職名
医師会	石井 泰平	厚木医師会長
	大橋 俊文	大和市医師会長
	大葉 梨之紀	海老名市医師会長
	廣井 基祥	座間綾瀬医師会長
病院	太田 和年	厚木病院協会長
	高原 和亨	大和・高座病院協会長
歯科医師会	田中 恭三	厚木歯科医師会長
	徳永 寛司	大和歯科医師会長
	白井 潔	海老名市歯科医師会長
	金井 雅仁	座間市歯科医師会
薬剤師会	依田 英子	厚木薬剤師会長
	大森 憲珠	座間市薬剤師会長
看護協会	今井 富美子	神奈川県看護協会県央支部長
社会福祉協議会	阿部 秀和	海老名市社会福祉協会長
	近藤 亘	綾瀬市社会福祉協会長
学校	頼住 道夫	厚木愛甲地区学校保健会長
	柳川 威	大和市学校保健会長
食生活団体	石川 志げ利	あゆみ会長
健康普及員団体	金子 幸枝	健康えびな普及員会長
食品団体	前場 敏男	厚木地区食品衛生協会長
環境団体	石井 孝幸	大和・綾瀬生活衛生協会長
行政機関	齊藤 晴雄	厚木市市民健康部長
	金守 孝次	大和市健康福祉部長
	渡辺 正明	海老名市保健福祉部長
	柴田 浩一	座間市保健福祉部長
	見上 久	綾瀬市健康こども部長
	加藤 光男	愛川町民生部長
	岩澤 洋	清川村民生部長
	長尾 洋	厚木児童相談所長
	岡部 英男	厚木保健福祉事務所長
	牧野 ゆり子	大和保健福祉事務所長

(2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿

（平成23年3月末現在）

氏名	役職・所属等	推薦医師会等
菊池 福三郎	菊池医院	厚木医師会
楠原 範之	くすはら内科クリニック	大和市医師会
吉武 泰俊	吉武内科医院	学識経験者
山内 則子	山内クリニック	学識経験者
伏見 暢子	人権擁護委員	厚木人権擁護委員協議会
見上 廣子	人権擁護委員	厚木人権擁護委員協議会

(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会委員名簿

(平成 23 年 3 月末現在)

氏 名	職 名 等	備 考
馬 嶋 順 子	厚木市医師会 公衆衛生担当理事	学識経験者
楠 原 範 之	くすはら内科クリニック	学識経験者
田 代 和 也	厚木市立病院 院長	指定医療機関の医師
見 上 廣 子	厚木人権擁護委員協議会	医療以外の学識経験者

(4) 神奈川県介護保険審査会介護認定審査部会（第 3 部会）委員名簿

対象圏域：湘南西部・県央・県西圏域

(平成 23 年 3 月末現在)

氏 名	職 名 等	備 考
○牧 野 ゆり子	県大和保健福祉事務所長	
梶 原 光 令	医 師	
古 田 玄	弁 護 士	

(注) 「氏名」欄中の○印を付した委員は、部会の部会長

3 地域保健推進特別事業

区分	事業名	主管課	協力団体等
新規	若い世代(20、30歳代)への食生活支援体制づくり事業	保健福祉課	市町村・事業所・労働基準監督署等

4 職員の研究・学会等発表

演題名	発表日	研究・学会等名称	発表者
住民主体による地域づくり型歯科保健活動の試み～「健口体操」による高齢者の口腔機能向上普及活動から～	平成22年 10月7日	第59回日本口腔衛生学会総会	北原 稔
障がい者通所施設での口腔ケア支援体制作り報告	平成22年 10月31日	財団法人大同生命厚生事業団「地域保健福祉研究助成」	飯澤 智子
知的障がい者通所施設(作業所等)での口腔ケア自立支援について～<第2報> 実施プロセスと支援内容から～	平成22年 11月5日	神奈川県公衆衛生学会	飯澤 智子
知的障がい者通所施設(作業所等)の口腔ケア自立支援について～<第3報> 地域連携づくりと今後の課題～	平成22年 11月5日	神奈川県公衆衛生学会	北原 稔
養育支援事業「ベビーマッサージ教室」のこれまでの取り組みと今後の方向性	平成23年 2月4日	第32回地域保健師研究発表会	望月 恵
知的障がい者通所施設(作業所等)での口腔ケア自立支援について～<その1> 口腔ケア自立の現況と支援方法・支援効果～	平成23年 3月6日	神奈川県地域歯科医療研修会	飯澤 智子
知的障がい者通所施設(作業所等)での口腔ケア自立支援について～<その2> 地域連携づくりと今後の課題～	平成23年 3月6日	神奈川県地域歯科医療研修会	北原 稔
介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究報告	平成23年 3月31日	厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合事業)	北原 稔



神奈川県

厚木保健福祉事務所

厚木市水引2-3-1

〒243-0004

電話(046)224-1111(代表)